



西尾市



# 目次

1. 計画の概要等 .....	1
(1) 計画の概要 .....	1
① 目的 .....	1
② 位置づけ .....	1
③ 計画期間 .....	1
④ 計画の対象 .....	2
⑤ 計画の策定体制 .....	3
(2) 現況調査の概要 .....	4
① 全国・愛知県との施設量比較 .....	5
② 市民・団体の利用状況 .....	7
③ 上位計画・まちづくり計画調査 .....	15
2. スポーツ施設の整備活用方針 .....	16
① 基本理念 .....	16
② 基本方針 .....	17
3. スポーツ施設の整備活用計画 .....	21
(1) スポーツ施設の活用計画 .....	21
① 市民がスポーツに親しめる場としての活用 .....	21
② スポーツツーリズムとしての活用 .....	22
③ 施設整備と連動したまちづくりの推進 .....	24
(2) スポーツ施設の整備計画 .....	25
① 既存施設の評価・整備方針 .....	25
② 整備候補施設の整備方針 .....	50
(3) スポーツ施設の維持管理計画 .....	58
① 持続可能な施設利用への改善 .....	58
② 管理運営方法の改善 .....	58
③ 施設利用者の利便性向上と事務の効率化 .....	58
<資料編> .....	59
1. 策定経緯等 .....	60
(1) 策定経緯 .....	60
(2) 策定委員会名簿 .....	61
(3) 策定委員会規則 .....	62
2. スポーツ施設の利用実態 .....	63
3. 用語解説 .....	86

# 1. 計画の概要等

## (1) 計画の概要

### ① 目的

本市では、平成 23 年の合併後、各市町で所有していたスポーツ施設を継続して管理していることから、施設の老朽化対策、規模、数の適正化などが課題となっています。

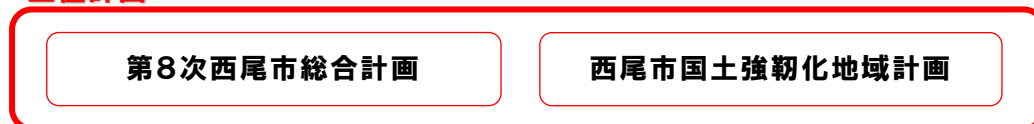
また、今般では、社会情勢やスポーツを取り巻く環境も変化してきており、平成 30 年 3 月にスポーツ庁がスポーツ施設のストック適正化ガイドラインを策定し、安全なスポーツ施設を持続的に提供するために地方公共団体ごとに、配置バランスや老朽度等を考慮し、多角的な視点から施設の計画を策定する必要性が求められています。

一方で、市民がスポーツに親しみ、心豊かな生活が送れるようにするためには、市民の活動ニーズに合わせた施設を整備し、活発なスポーツ活動ができる環境整備が求められるため、令和 2 年度に「スポーツまちづくりビジョン 2040～ビジョンの基本的な考え方」を作成しています。

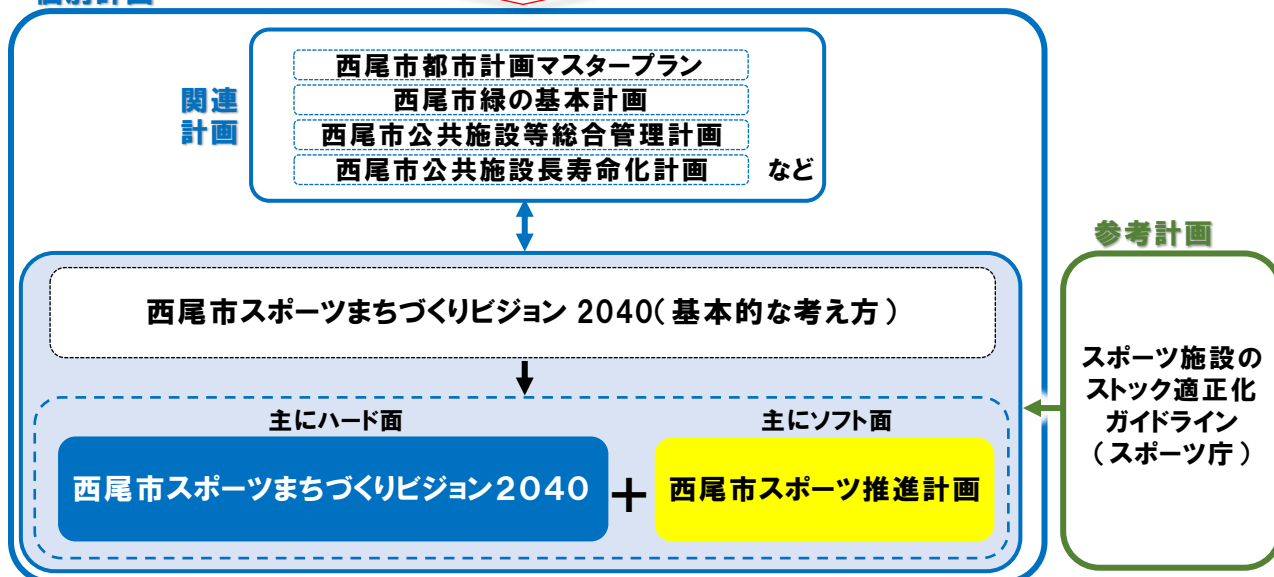
本計画は、本市におけるスポーツまちづくり計画の主にハード面に関する計画として、スポーツ施設の整備活用方針を整理するとともに、スポーツ施設の維持、更新、段階的な統廃合等による施設整備計画（手法並びにスケジュール）、施設の活用方策を定め、主にソフト面のスポーツまちづくり計画である西尾市スポーツ推進計画と一体的に推進していきます。

### ② 位置づけ

#### 上位計画



#### 個別計画



### ③ 計画期間

令和 5 (2023) 年度から令和 22 (2040) 年度までの 18 年間とします。なお、進捗管理として、施設整備の進展状況等の計画の進行管理を行い、必要に応じて計画の見直しを行っていきます。

#### ④ 計画の対象

本計画の対象施設としては、下表の既存施設（屋内施設 12 施設、屋外施設 25 施設）に加え、令和 7 年度開設予定の(仮称)駿馬瀬戸地区テニスコートをはじめとする新規施設も含めた検討を行います。

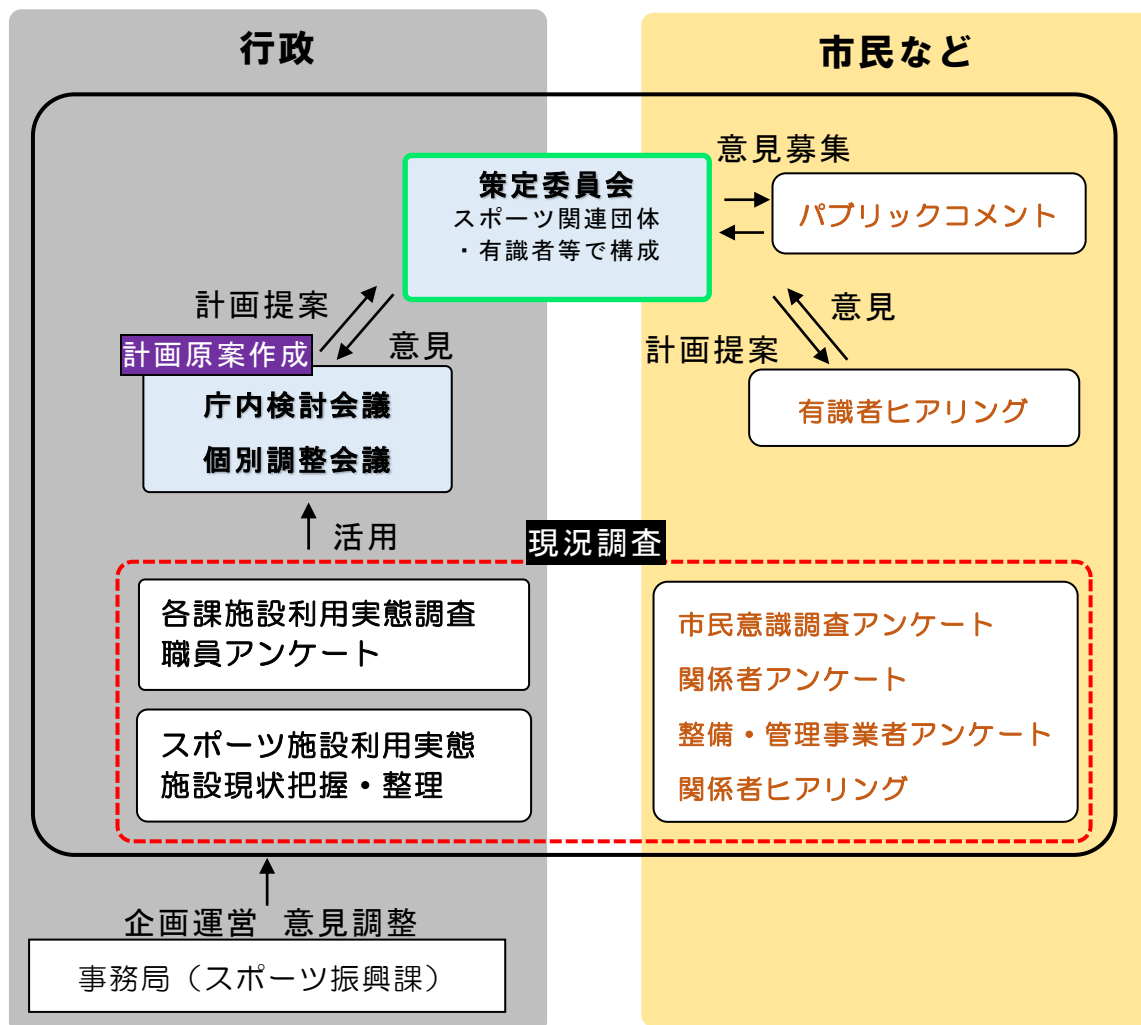
##### ■計画の対象とする既存施設

区分	施設名
屋内施設	総合体育館 鶴城体育館 中央体育館 羽塚武道場 一色町体育館 一色 B&G 海洋センター体育館 コミュニティ公園体育館 【令和 2 年 7 月閉館】 吉良野外趣味活動施設体育館 吉良弓道場 ふれあい広場（ホワイトウェイブ 21） 東幡豆体育館 幡豆弓道場
屋外施設	善明市民運動広場（野球場、ソフトボール場、テニスコート、アーチェリー場） 室市民運動広場（ゲートボール場） 西尾公園総合グラウンド 西尾公園テニスコート 古川緑地（サッカー場、ソフトボール場、テニスコート、ゲートボール場） 鶴城公園（テニスコート） 古川右岸 1 号緑地（テニスコート、運動広場） 矢作川西尾緑地（サッカー場、ソフトボール場、テニスコート、野球場） みなとまち 1 号緑地（野球場、サッカー場） 国道 23 号高架下スポーツ施設（スケートボード場、グラウンド・ゴルフ 23） 坂田球場（野球場、ソフトボール場） 坂田テニスコート 横須賀公園（運動場、テニスコート） コミュニティ公園（テニスコート、多目的広場、ゲートボール場） 吉良野外趣味活動施設（ゲートボール場） 吉良テニスコート場 吉良グラウンド・ゴルフ場 寺部野球場 寺部ソフトボール場 緑ヶ崎野球場 ふるさと公園グラウンド（ソフトボール場） 浜ノ山グラウンド（A・B）（ソフトボール場） 臨海公園テニスコート 幡豆ふれあいテニスコート 寺部ゲートボール場 松原グラウンド・ゴルフ場

## ⑤ 計画の策定体制

現況調査のアンケートやスポーツ施設の利用実態等を踏まえ、庁内検討会議等で計画原案の作成を行い、スポーツ関連団体や有識者も含めた策定委員会において、意見聴取を行いながら計画策定を行いました。

### ■ 策定体制図



## (2)現況調査の概要

本計画の現況調査としては、下表の内容を実施しています。なお、計画策定で重要な部分である「全国・愛知県との施設量比較」「市民・団体の利用状況」「上位計画・まちづくり計画調査」について詳細を記載します。

区分	調査項目・関係者
スポーツ施設の現状	<ul style="list-style-type: none"><li>施設種類の状況</li><li>地区別の配置状況</li><li><u>全国・愛知県との施設量比較</u></li><li>施設の所有関係</li></ul>
スポーツ施設の利用実態	<ul style="list-style-type: none"><li>施設の利用状況</li><li>大会の開催状況</li><li><u>市民・団体の利用状況（アンケート）</u></li></ul>
関係者（各種協会）への施設活用調査	<ul style="list-style-type: none"><li>スポーツ協会</li><li>文化協会</li><li>観光協会</li></ul>
施設整備・管理事業者等への調査	<ul style="list-style-type: none"><li>スポーツ施設の整備関連事業者</li><li>スポーツ施設の運営管理関連事業者</li></ul>
関係部局スポーツ施設活用に関する調査	<ul style="list-style-type: none"><li><u>上位計画・まちづくり計画調査</u></li><li>施設利用状況調査</li></ul>
施設の利活用や維持・更新・統廃合等のヒアリング	<ul style="list-style-type: none"><li>学識経験者</li><li>統廃合等を行う主なスポーツ団体</li></ul>

## ① 全国・愛知県との施設量比較

### 1) 地域別の配置状況

スポーツ施設の配置状況(学校体育施設を除く)を都市計画マスタープランの6地域区分で見ると、体育館とテニスコートは6地域全てに配置されており、平坂・寺津・福地地域、西尾・米津地域は、河川敷を利用している矢作川西尾緑地、古川緑地、古川右岸1号緑地があるため、野球場、ソフトボール場、サッカー場、テニスコート等が多くなっています。また、幡豆地域は野球場、ソフトボール場が多くなっています。

表 1 地域別のスポーツ施設の配置状況

地域	体育館	陸上競技場	野球場・ソフトボール場 球場数	球技場	多目的広場・運動場	テニスコート (屋外) 面数	屋内プール (水泳)
西尾・米津	2	1	2	0	0	13	0
室場・三和	1	0	2	1	0	4	0
平坂・寺津・福地	1	0	5	3	1	11	0
一色	2	0	2	0	0	4	0
吉良	2	0	0	0	2	7	1
幡豆	1	0	6	0	0	6	0
合計	9	1	17	4	3	45	1

注) 体育館には、羽塚武道場及び閉館中のコミュニティ公園体育館も含む。

西尾公園総合グラウンドは、陸上競技場とし、野球場及びサッカー場には含めない。

図 1 地域別のスポーツ施設の配置状況





## 2)全国・愛知県との施設量比較

### ア 施設種類別(人口10万人当り)

全国及び愛知県、西尾市の公共スポーツ施設数を、人口10万人当りの比較をみると、野球場・ソフトボール場が、全国及び愛知県の施設数より多く整備されています。また、屋内プール(水泳)は、全国及び愛知県より少なく、テニスコートについては、全国及び愛知県の施設面数を大きく上回っています。

表2 全国・愛知県・西尾市との公共スポーツ施設数の比較【人口10万人当り】

施設種類	体育館	陸上競技場	野球場・ソフトボール場	球技場	多目的広場・運動場
規模等	競技用床面積132㎡以上(全集計)	1周200m以上のトラックを有するもの(全集計)	固定したバックネットを有し、主として野球・ソフトボール専用のもの(全集計)	サッカー、ラグビー、ハンドボール、その他これに類する球技専用のもの(全集計)	992㎡以上で必要に応じて各種スポーツが行えるもの(全集計)
全国	6.7	0.8	5.2	1.3	6.7
愛知県	3.4	0.3	4.4	0.8	3.4
西尾市	5.3 (3.5)	0.6	6.5 [10.0]	2.4	1.8

施設種類	テニスコート(屋外)面数	屋内プール(水泳)
規模等	屋外にあつて規定のコートを有し、もっぱらテニスに使用されるもの	水面積150㎡以上(全集計)
全国	16.2	1.4
愛知県	12.4	0.9
西尾市	26.5	0.6

資料：平成30年度体育・スポーツ施設現況調査(スポーツ庁)

人口：全国は総務省統計局人口推計(平成30年10月1日)

愛知県及び西尾市は愛知県人口動向調査(平成30年10月1日)

野球場・ソフトボール場：古川緑地2、矢作川西尾緑地4は、バックネット等が撤去できるため集計から除く。

( )：学校体育館での利用施設

( )：鶴城体育館、一色町体育館、東幡豆体育館を除いた数値

[ ]：河川敷の固定していない野球場、ソフトボール場含めた数値

### イ 施設種類別(人口17万人当り)

県、国の施設数量を西尾市の人口17万人に換算して、比較すると下記のとおりとなります。

表3 体育施設(体育館、屋外施設)の施設数量比較

施設名	西尾市	数量比較	
	現況数量	県	国
体育館	9 (6)	5.8	11.4
陸上競技場	1	0.5	1.4
野球場・ソフトボール場	11 [17]	7.5	8.8
球技場	4	1.4	2.2
多目的広場・運動場	3	5.8	11.4
テニスコート(面数)	45	21.1	27.5
屋内プール(水泳)	1	1.5	2.4

注) 施設規模等は、表2と同じ。

## ② 市民・団体の利用状況

### 1)市民アンケート結果

公共スポーツ施設の統廃合を検討していく上で、市民のスポーツへの関心や日常的に行っているスポーツ、スポーツ施設の利用状況、今後のスポーツ施設整備の意向や費用負担等についての考え方等を把握するため、アンケート調査を実施しました。

#### ア 調査概要

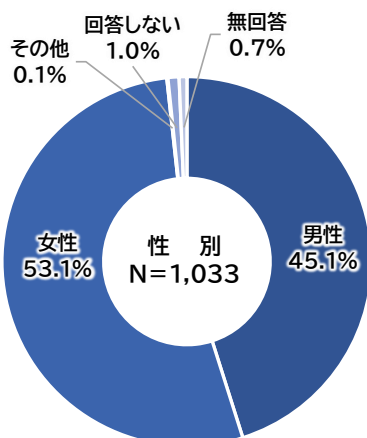
■ 調査項目	
属性	
1. スポーツへの関心	
2. 市内の公共スポーツ施設の利用状況	
3. 市内公共スポーツ施設の整備について	
4. 目指すべきスポーツ環境等について	
自由意見	
■ 調査対象	15歳以上80歳未満の市民（無作為抽出）
■ 調査方法	郵送による配付・回収
■ 調査期間	令和3年8月20日（金）～9月10日（金）
■ 配付数	2,500票
■ 回収状況	回収票数 1,033票 回収率 41.3%

#### イ 回答者属性

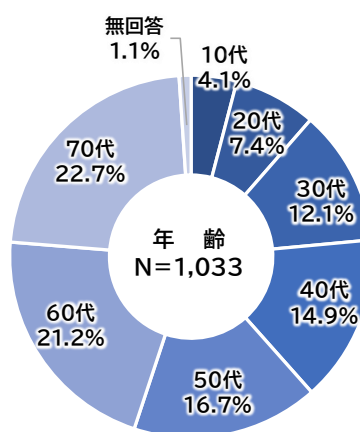
性別では、男性が45.1%、女性が53.1%でやや女性の方が多くなっています。

年齢別では、60代以上が43.9%、20代以下が11.5%となっており、回答者の年齢層は高くなっています。

性別



年齢

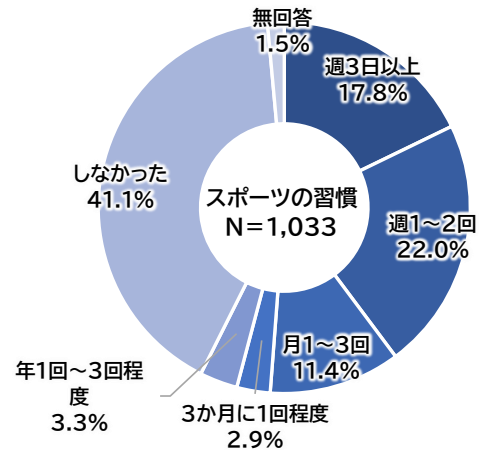


## ウ 調査結果

### Ⅰ スポーツへの関心

#### ア)市民のスポーツの実施状況

コロナ禍前の市民のスポーツの実施状況は、頻度に関係なく実施した人が57.5%、実施しなかった人が41.1%となっており、約6割の人がスポーツを実施しています。



#### イ)スポーツを実施する場所

実施している人が多い「ウォーキング」「ランニング」「自転車」は「近所の公園・道路・河川敷など」で主に実施されています。また、「水泳」「テニス」「バレーボール」「卓球」「バスケットボール」など、実施するにあたりプールやコート、器具など専用の環境や道具が必要なスポーツは、「市内の公共のスポーツ施設」を利用して実施している人が多くなっています。

注) N 値は、スポーツ習慣で「年1~3回程度」以上と回答した方は593人

#### ■スポーツの種類別スポーツをする場所

(%)

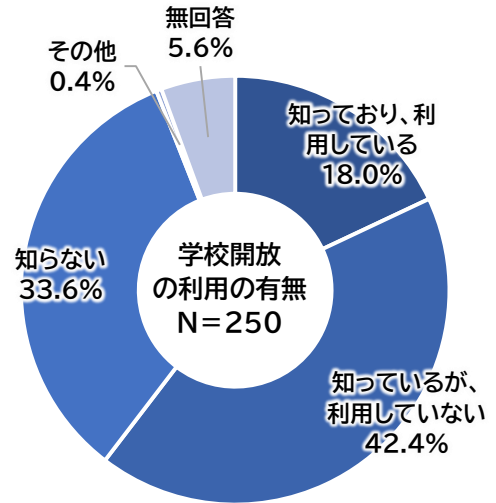
	近所の公園・道路・河川敷など	市内で公共のスポーツ施設	自宅	市内で民間のスポーツ施設	市外で民間のスポーツ施設	市外で公共のスポーツ施設	その他	無回答	N (人)
全体	47.6	34.6	21.2	19.1	12.1	10.3	9.3	1.3	593
ウォーキング	78.6	25.3	27.4	13.9	9.6	6.0	8.5	1.4	281
筋力トレーニング	44.4	35.9	48.7	39.3	11.1	14.5	5.1	0.0	117
体操、ヨガなど	32.5	49.1	43.9	23.7	9.6	10.5	11.4	0.9	114
ゴルフ	39.2	27.0	12.2	45.9	47.3	6.8	5.4	0.0	74
ランニング	79.1	37.3	29.9	17.9	11.9	16.4	6.0	1.5	67
自転車	79.6	29.6	50.0	16.7	13.0	11.1	14.8	0.0	54
水泳	44.9	61.2	24.5	34.7	16.3	20.4	8.2	2.0	49
テニス	37.5	75.0	34.4	12.5	25.0	28.1	9.4	0.0	32
卓球	25.8	74.2	19.4	19.4	19.4	25.8	16.1	0.0	31
野球	39.1	60.9	39.1	17.4	8.7	30.4	8.7	0.0	23
ソフトボール	56.5	56.5	26.1	21.7	26.1	26.1	8.7	0.0	23
ダンス	50.0	40.0	50.0	35.0	15.0	35.0	10.0	5.0	20
バレーボール	40.0	70.0	35.0	10.0	10.0	15.0	25.0	0.0	20
バドミントン	42.1	57.9	42.1	10.5	26.3	31.6	21.1	0.0	19
グラウンドゴルフ	57.9	52.6	15.8	26.3	15.8	5.3	0.0	0.0	19
バスケットボール	41.2	76.5	35.3	11.8	17.6	35.3	11.8	0.0	17
サッカー	81.8	63.6	54.5	45.5	27.3	27.3	27.3	0.0	11
ドッジボール	45.5	72.7	27.3	18.2	27.3	45.5	27.3	0.0	11
フットサル	70.0	50.0	40.0	40.0	50.0	30.0	20.0	0.0	10
陸上競技	70.0	50.0	50.0	30.0	30.0	40.0	40.0	0.0	10
剣道	44.4	88.9	33.3	22.2	22.2	55.6	11.1	0.0	9
ハンドボール	66.7	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	66.7	0.0	3
柔道	0.0	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	33.3	0.0	3
ラグビー	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	1
その他	29.3	41.3	16.0	12.0	18.7	17.3	28.0	1.3	75



### イ)学校開放利用状況

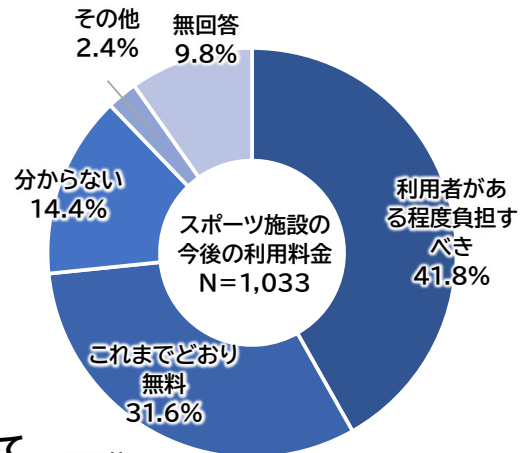
公共スポーツ施設を利用している人に学校開放の認知度及び施設の利用について確認したところ、学校開放を知っているが、60.4%で、利用しているは18.0%でした。

注) N値は、市内公共スポーツ施設を「頻繁に利用する」「時々利用する」「大会など機会があれば利用」とした方250人



### ウ) 公共スポーツ施設の今後の使用料金について

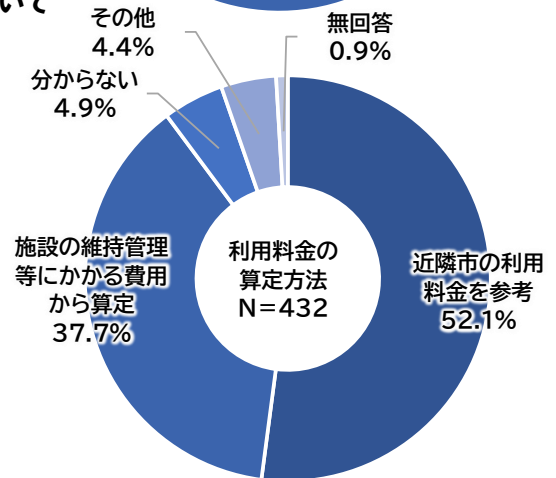
公共スポーツ施設の使用料金については「利用者がある程度負担すべき」が最も多く41.8%となっています。



### エ)公共スポーツ施設の使用料金の算定の仕方について

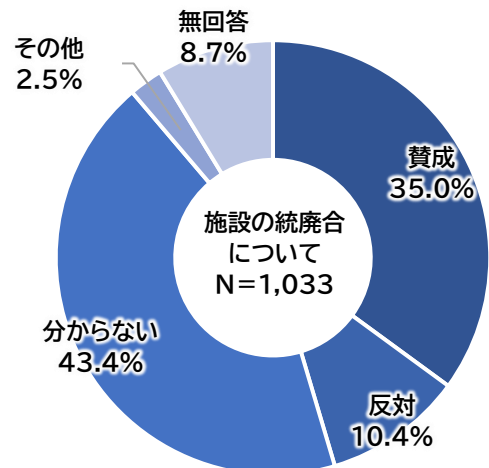
公共スポーツ施設の使用料金が有料となる場合、その算定方法については、「近隣市の使用料金を参考」が最も多く52.1%で半数以上となっています。

注) N値は、スポーツ施設の今後の利用料金について「利用者がある程度負担すべき」とした方432人



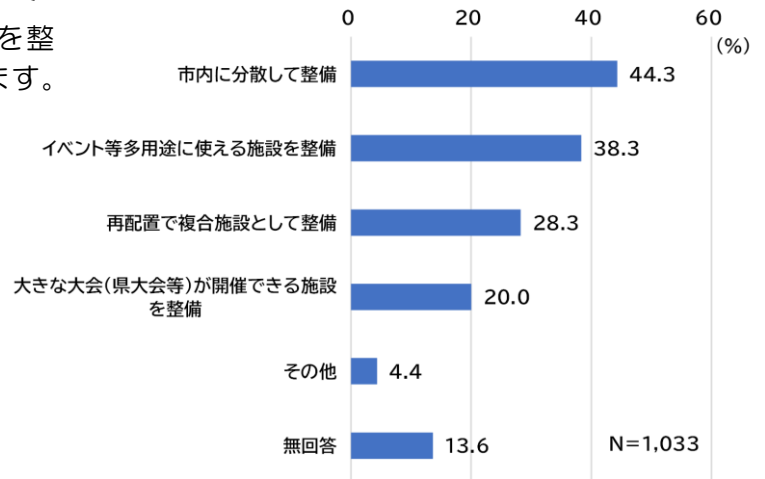
### オ)市内公共スポーツ施設の統廃合について

合併で増えている本市のスポーツ施設の統廃合については、「わからない」を除くと「賛成」の人が多くなっています。



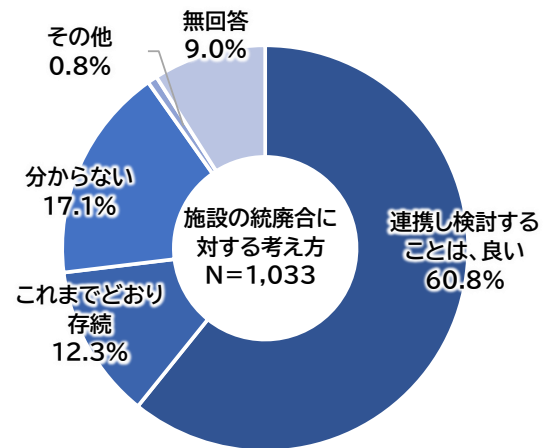
### カ)市内公共スポーツ施設の整備について

「市内に分散してスポーツ施設を整備」を希望する人が多くなっています。



### キ)市内公共スポーツ施設の統廃合に際し、近接する公共文化施設等との連携について

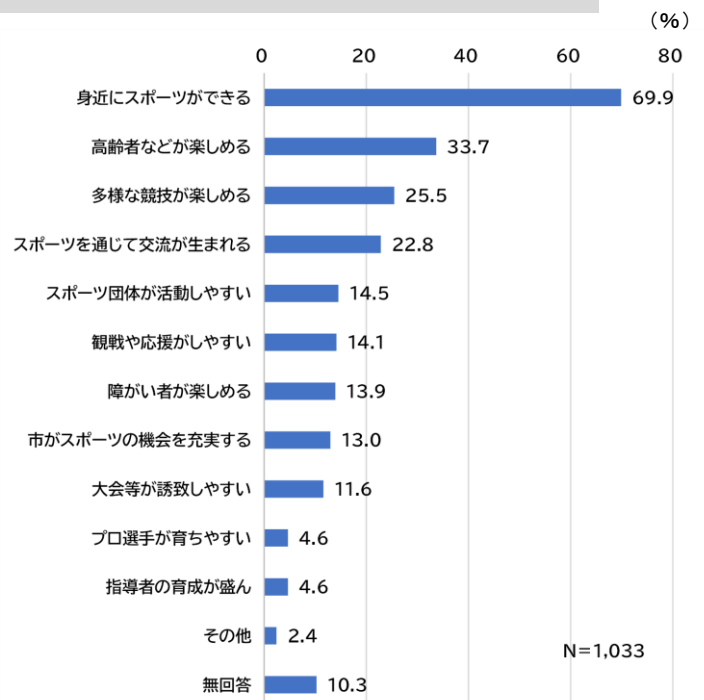
施設の老朽化や利用率の状況を見ながら近接する公共文化施設等との連携を検討していくことについて「連携し検討することは、良い」が60.8%と多くなっています。



## III 目指すべきスポーツ環境等について

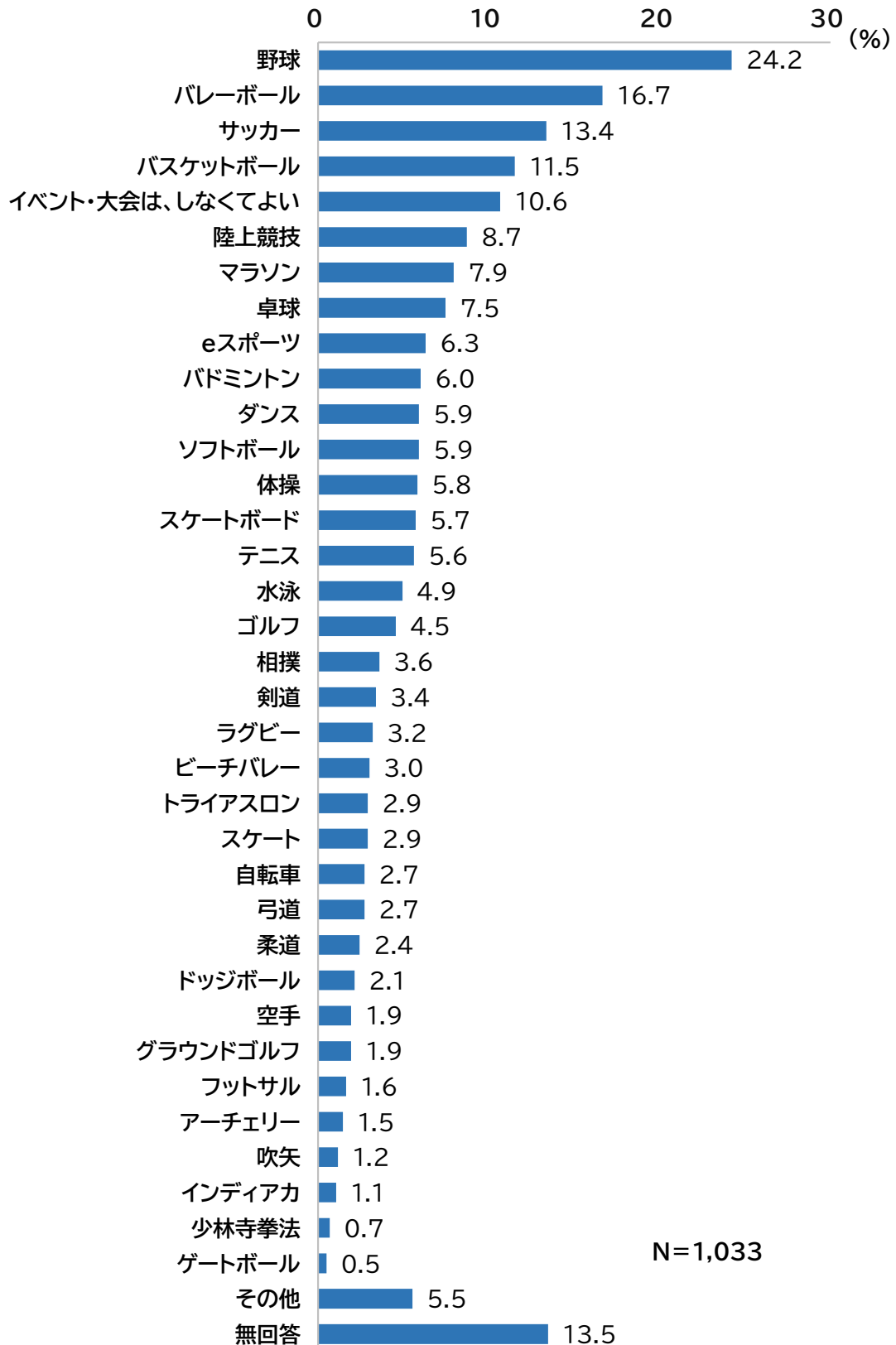
### ア)本市の目指すべきスポーツ環境について

本市が目指すべきスポーツ環境については、「身近にスポーツができる」が69.9%と最も多くなっています。他に「高齢者などが楽しめる」「多様な競技が楽しめる」環境などを求める声が多くなっています。多様な人が多様な種類のスポーツを気軽に親しめる環境整備が求められています。



## イ)今後市内で観戦や誘致したいイベント・大会

「野球」24.2%が最も多く、「バレーボール」16.7%、「サッカー」13.4%と続いています。球技や陸上競技、武道、eスポーツに至るまで幅広い種類のスポーツがあげられています。



## 2)スポーツ団体アンケート結果

公共スポーツ施設の統廃合を検討していく上で、市民のスポーツへの関心や日常的に行っているスポーツ、スポーツ施設の利用意向、費用負担等についての考え方等を把握し、公共スポーツ施設利用のニーズ、今後のあり方等を検討するための基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

### ア 調査概要

■ 調査項目	
1. スポーツ施設の利用状況、満足度、重要度	
2. 市内公共スポーツ施設の機能性	
3. スポーツ活動活性化のための行政との連携について	
■ 調査対象	市内スポーツ団体、スポーツ推進委員
■ 調査方法	郵送、電子メール、FAX による配付、回収
■ 調査期間	令和3年8月20日（金）～10月31日（日）
■ 回収状況	回収票数 153 票
■ 配付方法	下記の配付方法を参照

#### ■ 回収状況

調査票 No.	配付対象	回収数
No.1	西尾市スポーツ協会から加盟 24 競技団体	80 票
No.2	スポーツ施設の利用者（利用団体）から無作為抽出	15 票
No.3	学校開放利用者（利用団体）から無作為抽出	6 票
No.4	スポーツ推進員から無作為抽出	9 票
No.5	社会福祉協議会から障害スポーツ団体等へ	4 票
No.6	スポーツクラブ（つるしろ、いっしき、さく、吉良）	39 票
合計		153 票

#### ■ 配付方法

No1、No.5、No.6：各団体等にアンケート内容を説明し、取りまとめを依頼  
（取りまとめを依頼したため配付数は不明）

No2：無作為抽出した 30 人に郵送

No3：無作為抽出した 10 人に郵送

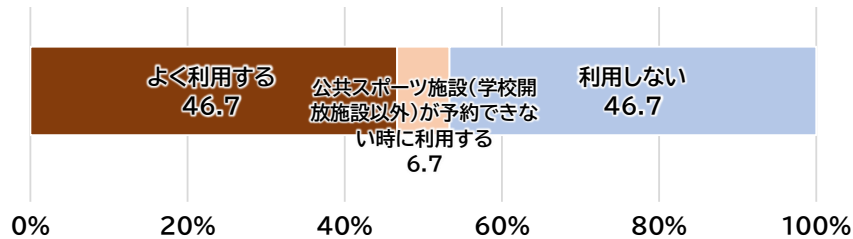
No4：無作為抽出した 12 人に郵送



## イ 調査結果

### ア)スポーツ団体の学校開放施設利用

スポーツ施設を利用する団体が学校開放を利用する割合は、公共スポーツ施設の予約ができない場合の利用も含めると、53.4%となっています。約半分の団体が学校開放施設も利用しています。

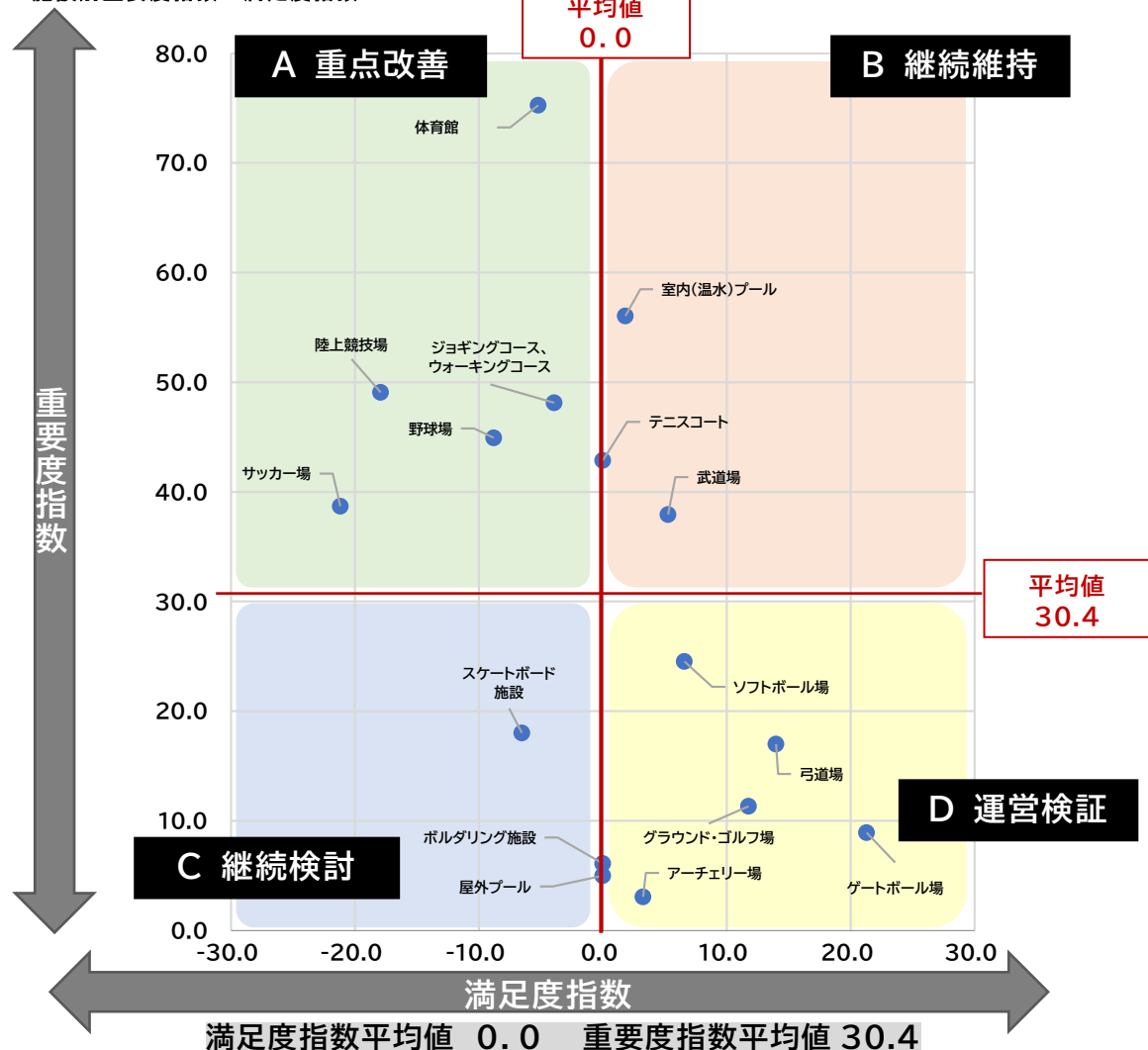


### イ)公共スポーツ施設の満足度・重要度指標

重点改善が5種目、継続活用が3種目、継続検討が1種目、運営検証が7種目となっています。

体育館や陸上競技場など様々な競技に対応でき、多くの人、団体のスポーツ環境に影響のある施設が、「重要度」が高く「満足度」の低い「重点改善」の領域に位置しています。またジョギング、ウォーキングなど With コロナ時代にも行いやすい競技や、野球場やサッカー場など競技人口が多い競技も重点改善の領域に位置しているため、これらの施設は今後の施策を検討していく必要があると思われます。

■施設別重要度指数・満足度指数



※ボルダリング施設と屋外プールは現在市内に公共施設が無いため、満足度指数が0となっている。

### ③ 上位計画・まちづくり計画調査

関係部局に対し、スポーツ施設の有効活用及び他の公共施設改修計画等と連携を図るため、関係各課に対し、施設の改善・廃止要望（統廃合）、新設等の調査実施した結果は下記のとおりとなっています。

#### 1)改善要望

施設名	要望	担当課
総合体育館	「合同企業説明会」の会場として利用しており、大型車両による資材搬入を容易にしてほしい。	商工振興課

#### 2)廃止要望

施設名	理由	担当課
西尾公園 テニスコート	生涯学習センターの建設を予定。	生涯学習課
	西尾幼稚園の駐車場がなく、文化会館の駐車場を利用させてもらっている。廃止するのであれば駐車場として利用したい。	保育課
鶴城公園 テニスコート	岩瀬文庫と図書館、鶴城公園は駐車場を共用しているが、出入り口の狭さ、休祝日や催し時の混雑、大型バスが止められず遠方からの団体が来庫を断念するなどの不便がある。これらを解消すべく敷地一体の再整備が必要であると考えため。	文化財課

#### 3)新設要望

施設名	計画名等	理由	担当部局
屋内温水プール	小学校プール全体計画	小学校プール全体計画により小学校プール授業を温水プールに移行するためには、既存の温水プールだけでは、すべての学校が温水プールに移行できないため。	教育委員会

## 2. スポーツ施設の整備活用方針

### ① 基本理念

市民がスポーツに親しみ、心豊かな生活が送れるようにするために、既存のスポーツ推進計画やスポーツまちづくりビジョン 2040（ビジョンの基本的な考え方）、スポーツ都市宣言で、以下の方針が示されており、これらを踏まえ、基本理念を以下のように設定します。

#### スポーツ推進計画の基本理念

スポーツで元気になるまち 西尾

～すべての人にスポーツの喜びを～

#### スポーツまちづくりビジョン 2040(ビジョンの基本的な考え方)

##### ■西尾市スポーツ施設の一団整備から分散整備に

分散整備を軸とし「まちづくり」や「文化施設との連携」も視野に入れ施設整備を進めることを基本とする。

##### ■スポーツ施設整備の考え方

- 市民のスポーツ活動の活性化
- 市内外から人が集まる拠点づくり
- 施設整備と連動したまちづくり

#### スポーツ都市宣言

私たち西尾市民は、スポーツを愛し、スポーツを通じて健康で豊かな心とからだを育て、「スポーツで元気になるまち西尾」を築く



### 基本理念



いつでも、どこでも、だれとでも

気軽に、楽しく、交流し

スポーツで元気になれる施設づくり



## ② 基本方針

西尾市スポーツ推進計画との役割分担から主にハード面において、基本理念である「いつでも、どこでも、だれとでも、気軽に、楽しく、交流し、スポーツで元気になる施設づくり」の実現に向け、今後も進行が予想される少子高齢化社会のなかで、健康寿命の延伸や交流人口の増加に寄与し、将来的な人口減少のなかでも持続可能なスポーツ施設づくりを「施設の活用」「施設の整備」「施設の維持管理」の方針をもとに進めていきます。



# 1

## 施設の活用

### に関する方針

#### 1) 市民がスポーツに親しめる場としての活用

年齢や障害の有無にかかわらず、誰もがスポーツに楽しむ機会を提供するなど、ソフト面も含めた施設の充実を図ります。健康寿命の延伸に向けて気軽に始められるウォーキング等の環境整備を行います。

#### 2) スポーツツーリズムとしての活用

スポーツ施設とツーリズムを融合した取り組みであるスポーツツーリズムの視点によって、市外からの集客施設としての活用を図ります。今後の新規施設整備においても、市外からの集客が見込める施設（交流人口増加）という視点での検討を行います。

#### 3) 施設整備と連動したまちづくりの推進

施設整備にあたっては、公共交通や幹線道路、基盤整備など、周辺まちづくりとの連動した取り組みを実施することにより、「スポーツ施設のあるまち」として住みやすさ、まちのにぎわい向上を図ります。また、気軽に始められるウォーキングの拠点施設としての役割を検討します。さらに、スポーツ施設は、単にスポーツする場ではなく、防災拠点としての役割など地域の拠点施設としての役割を担っており、今後の新規施設整備にあたっては、防災機能や交流機能の導入など、まちづくりとの連携について検討します。



## 2

### 施設の 整備

#### に関する方針

#### <施設分類別>

##### 1) 市民ニーズ・利用者ニーズを反映した施設整備

市民及び団体のアンケートを踏まえ、施設分類別の重要度が高いものは、施設の統廃合を含め、施設改善候補として検討を行います。また、施設分類別の重要度が低く、満足度も低い施設は、他の用途への転用を検討します。

##### 2) 施設毎の利用実態を踏まえた配置モデルによる施設整備

個人や団体のスポーツ活動の違いや、スポーツの種別等により、求められる配置は異なり、市民アンケート結果等も踏まえ、スポーツの種別ごとに広域交流施設や中核施設、地域施設などの配置モデルを検討し、過不足状況により統廃合や新規整備候補等を検討します。

##### 3) 全国・愛知県の整備状況(総量)を踏まえた施設整備

主要なスポーツ施設の人口当たりの整備状況を全国及び愛知県のデータをもとに、供給過多となっている施設分類については、統廃合候補として検討します。

#### <施設別>

##### 4) 施設利用実態を反映した施設整備

施設利用率のデータをもとに、利用率の低い施設については、配置モデルを考慮のうえ、縮小や統廃合候補等として検討します。

##### 5) 施設の安全性・機能性、借地施設等を踏まえた施設整備

老朽化が進んだ施設や、現在求められる機能が不足している施設も見られることから、安全性や機能性が不足する施設については、公共施設長寿命化計画に沿って、再整備や統廃合候補として検討を行います。また、借地利用施設については、借地面積等を考慮して、統廃合候補として検討します。

#### <共有>

##### 6) 上位計画・まちづくり計画を踏まえた施設整備

西尾市総合計画や西尾市都市計画マスタープラン、西尾市緑の基本計画、西尾市公共施設等総合管理計画、西尾市国土強靱化地域計画、各部局の事業計画（予定含む）等のまちづくり計画を踏まえ、統廃合や新規整備候補を検討します。



# 3

## 施設の 維持管理 に関する方針

### 1) 持続可能な施設利用への改善

持続的に施設を維持するため、利用者負担の原則により料金の見直しを検討するとともに、効率的な運営により維持管理費の低減化を図ります。

### 2) 管理運営方法の改善

安全で快適な利用ができるよう適正な維持管理に努めるとともに、利用率の向上に資するサービスの向上に向けて、民間のノウハウを活用した指定管理者制度の導入を含め検討します。

### 3) 施設利用者の利便性向上と事務の効率化

公共施設予約システムの充実を図ることにより、利用者の利便性と事務の効率化を図ります。



## 3. スポーツ施設の整備活用計画

### (1) スポーツ施設の活用計画

#### ① 市民がスポーツに親しめる場としての活用

市民がスポーツをする場、見る場として、施設分類ごとに以下のような活用を図っていきます。

##### 1) 身近な地域施設の有効活用

地域施設については、市民が身近でスポーツを親しむ拠点として、気軽に参加できるスクールや健康増進活動の場として活用を図ります。また、利用者の少ない平日等の利用増進に向けた検討を行い、学校施設については、地域部活動への移行も考慮し、関係機関と協議を行い、利活用を検討してきます。

市民・団体アンケートで重要度が高いウォーキング、ジョギング等は、公園施設等とも連携し、コースの起点・終点や準備、休憩等をサポートできるような活用を図っていきます。

##### 2) レクリエーションの場としての有効活用

競技スポーツを実施するというのは、多くの市民にとってハードルが高いのが現実です。こうしたことから、レクリエーション的に、より楽しみながら行える運動を行う場として活用していくことが望まれます。

レクリエーションの場としての有効活用に向けては、高齢者が運動するきっかけとなるレクリエーション運動について教室等の開催などソフト面の充実を検討していきます。

##### 3) 総合型地域スポーツクラブでの活用促進

総合型地域スポーツクラブは、子供から高齢者まで身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、西尾市には4つの総合型地域スポーツクラブが地域施設を拠点に活動を行っています。今後、スポーツ活動に加え、レクリエーションや文化活動も含めた取組みを検討するなかで、地域施設を活用する新たな総合型地域スポーツクラブの拡充を促進していきます。

##### 4) 高齢者や障害者などの活用促進

高齢者や障害者のスポーツ施設の活用促進に向け、段差の解消や多目的トイレへの改修など、スポーツ施設のバリアフリー化を進めます。



## ② スポーツツーリズムとしての活用

### 1) スポーツツーリズムタイプ別の活用

人口増加が続く西尾市においても、中長期的には人口減少が予想されており、観光まちづくりによる交流人口の増加、観光消費額の増加が望まれています。

スポーツ施設の活用における、広域交流拠点・中核施設・地域施設それぞれのスポーツツーリズムでの活用を基本に、下表のスポーツツーリズムのタイプ別に取組の充実を図っていきます。

表 4 スポーツツーリズムのタイプ

タイプ	活用施設	内容
ホームタウン型 (地域のトップアスリートチームが活躍し、それを地域(住民・企業・行政等)が支えて形成するもの)	広域交流拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Vリーグ「エアリービーズ」のホームタウンとして広域集客、観光連携による観光消費拡大</li> <li>・ホームタウン協定によるまちづくりとの連携(スポーツ教室開催等)</li> </ul>
イベント開催型 (既存大会や大規模な大会、全国レベルのスポーツイベントなどの開催を基本として形成するもの)	広域交流拠点 中核拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存大会・イベントを、広域からの集客、宿泊を伴うイベントへ拡充することで観光消費拡大</li> <li>・将来的に新規の大会・イベント開催 既存：マラソン大会 新規：マリンスポーツ、eスポーツ</li> </ul>
キャンプ・合宿型 (スポーツキャンプ・合宿の場として、施設をはじめとした環境・資源を活かし、提供して宿泊などの経済効果の拡大を図って形成するもの)	広域交流拠点 中核拠点 地域施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しむことを重視したスポーツチームのキャンプ・合宿誘致</li> <li>・幡豆・吉良地域の宿泊施設とスポーツ施設との連携による観光消費拡大</li> <li>・助成金を活用した誘致促進</li> </ul>
リゾート型 (地域の自然環境、気候条件などを活かした観光資源の場を提供し、宿泊・飲食・交通事業者等と連携して形成するもの)	地域施設 市内マリンスポーツ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リゾート型の宿泊施設の多い、幡豆・吉良地域のスポーツ施設や海辺のマリンスポーツ・サイクルスポーツと連動することで観光消費拡大</li> </ul>

## 2)施設分類別の活用

### ●広域交流拠点

広域交流拠点である総合体育館や、今後、整備予定の大規模施設については、国内トップレベルの大会や大規模大会、イベント等でのにぎわい拠点ともなる施設として活用を図ります。

大会等を開催することで来訪者を増やし、本市の特産品や観光資源をPRすることで、観光消費額を増加させる観光交流拠点としても活用し、スポーツ観戦と観光を組み合わせたスポーツツーリズムの創出を図ります。

本市では、Vリーグ女子バレーボールチーム「デンソーエアリービーズ」とホームタウンパートナー協定を締結し、大会を開催していますが、今後、整備予定の大規模施設でも、積極的に企業チームとの連携を検討し、施設の活用を図ります。

### ●中核施設

中核拠点である中央体育館や西尾公園総合グラウンド、坂田球場等については、各競技スポーツの地域競技大会の開催に加え、広域からの集客できる「にしおマラソン」などの大会拠点としてスポーツ協会や観光協会等と連携を図りながら、県外からの宿泊者を増やす大会としての充実を図ります。こうした取り組みにより、スポーツ参加と観光資源（宿泊）とを組み合わせたスポーツツーリズムの創出を図ります。

### ●地域施設

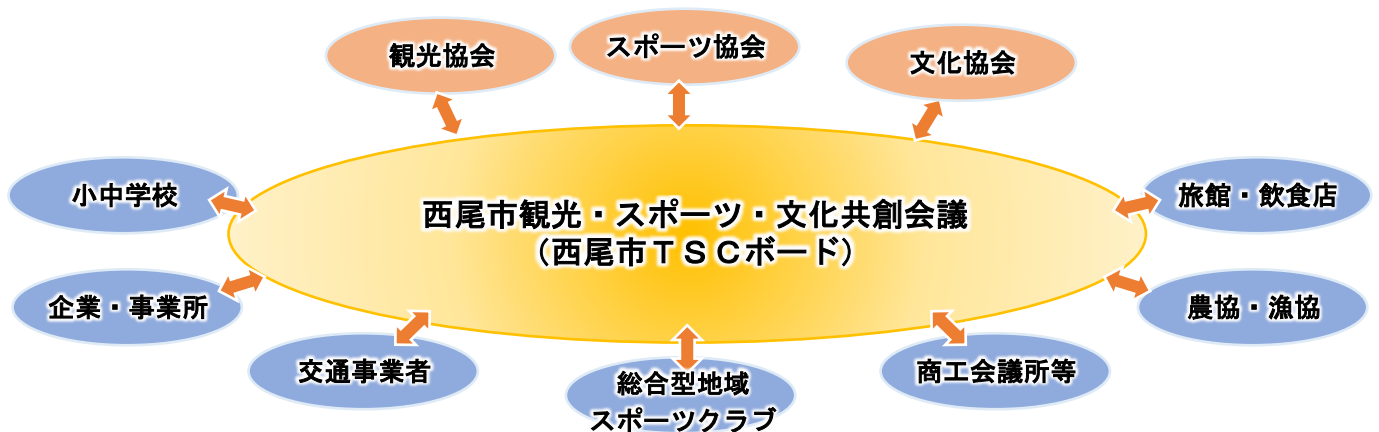
地域施設については、市民がスポーツに親しむ拠点として、気軽に参加できるスクールや健康増進活動の場として活用を図ります。また、利用者の少ない平日等の利用増進に向け、合宿利用等を検討していきます。



### 3)西尾市TSCボードの活用

本市においては、観光協会、スポーツ協会、文化協会が連携する西尾市観光・スポーツ・文化共創会議（通称：西尾市 TSC ボード）を創設し、3分野が連携した取組みを検討しています。

スポーツツーリズムの推進にあたっては、西尾市 TSC ボードを活用し、旅館・飲食店や交通事業者等と連携しながらスポーツ施設を活用したスポーツツーリズムの活性化を図ります。



### ③ 施設整備と連動したまちづくりの推進

広域交流拠点や中核拠点となるスポーツ施設の整備にあたっては、幹線道路や鉄道駅からアクセスしやすい場所を選定を行っていくとともに、駅からスポーツ施設までのアクセスについて安全で快適な歩道を確保し、運行本数についても確保を図っていく必要があります。そのため、基盤整備と連動した施設整備も含め検討を行います。

また、地域の防災施設としても機能するよう検討するとともに、スポーツ施設と近接する教育・文化施設では、相互利用等を検討し、連携した整備を行っていきます。

## (2)スポーツ施設の整備計画

### ① 既存施設の評価・整備方針

「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン」を参考に評価を行います。

#### 1) 評価の方法

##### 1次評価(施設分類別評価)

施設分類別に、縮小・拡大を整理し、施設レベルでの方向性を設定

1) ニーズ評価  
市民・団体の  
重要度・満足度

2) 総量評価  
10万人当りスポーツ施設数  
全国・愛知県

3) 上位計画・  
まちづくり計画  
(各部署事業計画等)

施設数の縮小・拡大  
(施設分類)

上位計画・各部署  
事業計画との調整

施設分類別(施設レベル別)に整備の方向性整理  
広域交流施設・中核施設・地域施設の統廃合・新規整備の方向性を設定

##### 2次評価(施設別評価)

1次評価結果を踏まえ、施設毎に整備手法を設定

利用状況評価  
利用率

安全性・機能性等評価  
劣化度・重要機能有無・経済性(借地)

上位計画・  
まちづくり計画  
(各部署事業計画等)

統廃合・新施設等の方針

## 2) 1次評価

※1:  
ニーズ評価の資料は市民 P9、団体 P14  
総量評価の資料は P6  
上位計画・まちづくり計画の資料は P15  
を参照

表 5 1次評価結果

項目	評価指標	評価方法	
		評価基準	評価方向
ニーズ評価※1	市民・団体の 重要度・満足度	重要度が高く・満足度が低い	【A 重点改善】
		重要度・満足度が高い	【B 継続活用】
		重要度・満足度が低い	【C 維持検討】
		重要度が低く・満足度が高い	【D 運営検証】
総量評価※1	10万人当り スポーツ施設数 (全国・愛知県と 西尾市の比較)	全国及び愛知県の施設数を大きく <u>上回る</u> 施設分類	【縮小、 統廃合候補】
		大きく <u>下回る</u> 施設分類	【拡大、 施設整備候補】
上位計画・※1 まちづくり計画	各部局 事業計画等	上位計画等で廃止等が位置づけられている施設のある分類 ⇒西尾市公共施設長寿命化計画 「統合」「廃止」	【縮小候補】
		上位計画、各部局事業計画等で計画が位置づけられている(検討中)施設のある分類 ⇒西尾市公共施設長寿命化計画 都市再生整備計画事業 小学校プール全体計画	【統廃合、 新規整備候補】

市: 市民アンケート  
団: スポーツ団体アンケート  
A: 重点改善  
B: 継続活用  
C: 維持検討  
D: 運営検証

対象施設
市A・団A 陸上競技場 市A・団A 野球場 市A・団A サッカー場 市B・団A 体育館 市B・団B 屋内温水プール 市B・団B テニスコート 市B・団B 武道場
市C・団C スケートボード 市C・団D アーチェリー場 市C・団D 弓道場 市D・団D ソフトボール 市D・団D グラウンド・ゴルフ場 市D・団D ゲートボール場
テニスコート 野球場・ソフトボール場 サッカー場
多目的広場・運動場
弓道場
【統廃合・新規整備】 体育館 テニスコート 【新規整備】 屋内温水プール

## 施設分類別整理

施設分類	検討の方向性
体育館	<p>ニーズ評価で市民B・スポーツ団体A、上位計画・まちづくり計画で統廃合、新規整備候補</p> <p>⇒ニーズは、B継続活用、A重点改善で適切な維持管理、施設改善が望まれるなか、総量は県値より高く供給されているが、学校が主に使用している3施設を除くと同レベルとなるため、老朽化、耐震化による更新に合わせて統廃合等を行い、上位計画により新施設を検討する。</p>
野球場	<p>ニーズ評価で市民A・スポーツ団体A、総量評価で縮小・統廃合</p> <p>⇒ニーズは、A重点改善で、スポーツ団体からは、質の高い施設更新が望まれるなか、総量は、全国・県値より高く供給されており、縮小、統廃合が必要であることから、統廃合も含め施設整備を検討する。</p>
ソフトボール場	<p>ニーズ評価で、市民D・スポーツ団体D、総量評価で縮小・統廃合候補</p> <p>⇒ニーズはD運営検証で、総量は、全国・県値より高く供給されており、縮小、統廃合が必要であるため、借地の施設を中心に検討する。</p>
陸上競技場	<p>ニーズ評価で市民A・スポーツ団体A</p> <p>⇒トラックのある陸上競技場(400m)は、1箇所しかなく、ニーズとしては、A重点改善で、スポーツ団体は、質の高い施設更新を望むことから、施設改修や移転整備も含め検討する。</p>
サッカー場	<p>ニーズ評価で市民A・スポーツ団体A、総量評価で縮小・統廃合候補</p> <p>⇒ニーズは、A重点改善で、スポーツ団体は、質の高い施設更新を望むが、総量は、全国・県値より高く供給されており、縮小、統廃合が必要となっているため、統廃合を含め施設整備を検討する。</p>
多目的広場 ・運動場	<p>総量評価で拡大、施設整備候補</p> <p>⇒総量は全国・県値より低く供給されており、多目的広場等は、サッカーやソフトボールなど他のスポーツも利用できることから他の施設の統廃合も含め検討する。</p>
テニスコート	<p>ニーズ評価で市民B・スポーツ団体B、総量評価は、縮小・統廃合候補で、上位計画・まちづくり計画で、統廃合・新規整備候補</p> <p>⇒ニーズとしてはB継続活用となっているものの、総量は、県値の2倍と過大となっているため縮小・統廃合について検討するとともに、上位計画・まちづくり計画より、大規模大会の出来る施設を新規整備する。</p>
弓道場	<p>ニーズ評価で市民C・スポーツ団体D、上位計画・まちづくり計画で縮小候補</p> <p>⇒ニーズ評価でC維持検討、D運営検証、上位計画・まちづくり計画で縮小候補で、上位計画での位置づけに沿って縮小する。</p>
屋内温水プール	<p>ニーズ評価で、市民B・スポーツ団体B、総量評価で、全国・県値を下回り、上位計画・まちづくり計画で新規整備</p> <p>⇒屋内温水プールは、1箇所、ニーズもB継続活用で高く、スポーツ団体は質の高い施設整備を望み、小学校プール全体計画に基づく小学校プールの段階的な温水プールへの移行により、需要が高まることから新規整備を検討する。</p>
その他	<p>【アーチェリー場、スケートボード場】</p> <p>ニーズ評価で市民C・スポーツ団体C、D</p> <p>⇒1箇所しかないため現状維持を前提とする。</p> <p>【グラウンド・ゴルフ場、ゲートボール場】</p> <p>ニーズ評価で市民D・スポーツ団体D</p> <p>⇒グラウンド・ゴルフは、多目的広場等でも利用できることから、縮小・統廃合も含め検討する。</p> <p>⇒ゲートボール場は、使用率や借地施設を考慮し、縮小を検討する。</p>



### 3) 施設分類別(施設レベル別)に整備の方向性整理

個人や団体のスポーツ活動の違いや、スポーツの種別等により、求められる配置は異なり、市民アンケート結果等も踏まえ、スポーツの種別ごとに広域交流施設や中核施設、地域施設などの配置モデルを検討し、過不足状況により統廃合や新規整備候補等を検討します。

#### 広域交流施設

- 大規模な集客やスポーツツーリズムが期待できる県大会や全国規模の大会にも対応できる施設とし、スポーツ以外の集客イベントにも活用できる施設とします。
- 新規整備にあたっては、大会やイベント等での利活用の可能性、経済性について十分検討を行い、まちのにぎわいに資する可能性の高い施設のみ新規整備の検討を行います。

いつでも、どこでも、だれとでも  
気軽に、楽しく、交流し  
スポーツで元気になれる施設づくり

#### 地域施設

- 日常的な利用を目的とした施設として、スポーツ施設に加え学校開放による体育館やグラウンドも活用します。
- 施設の利用実態や市民アンケート等も考慮し、位置づけます。
- 地域施設については、適正に維持管理するとともに、更新にあたっては利用状況を踏まえ必要性を十分検討します。

#### 中核施設

- 西三河地区の競技大会より大きな規模に対応できる施設とし、必要に応じ県大会規模の大会にも対応できる施設とします。
- 競技人口の多いスポーツ及び競技団体の活動が活発な競技について位置づけます。
- 中核施設については、適正に維持管理するとともに、更新にあたっては集約化、ネットワーク化を検討し、適正規模の施設整備を推進します。

#### 4) 2次評価(施設別評価)

1次評価結果を踏まえ、施設毎に整備手法の設定を行います。

### ① 現状整理

広域交流施設	中核施設	地域施設	
		スポーツ施設	学校開放
大規模集客やスポーツツーリズムが期待できる大会・イベントに活用できる施設	西三河地域の競技大会より大きな規模に対応できる施設	日常的な利用を目的とした施設	

### ② 2次評価

#### 利用状況評価

⇒利用率  
(90%以上◎、  
90%未満 80%以上○、  
80%未満 50%以上△、  
50%未満×)

#### 劣化状況評価

⇒健全度  
⇒劣化調査の各項目の  
平均値

上位計画・  
まちづくり計画  
⇒上位計画、各部署事  
業計画等

### ③ 統廃合・新施設等の方針

#### 整理イメージ

**ア) 体育館**  
<1次評価結果>

1次評価		検討の方向性
ニーズ評価	中核【日産線延伸】 スポーツ団体【ふじの森駅】	
稼働評価	全廃(廃止) ・県道(上野)	
上位計画・まちづくり評価	新規整備候補	

<2次評価結果>

■ 配置モデル(現状)

広域交流施設	中核施設	地域施設	
		スポーツ施設	学校開放
大規模集客やスポーツツーリズムが期待できる大会・イベントに活用できる施設	西三河地域の競技大会より大きな規模に対応できる施設	日常的な利用を目的とした施設	
◎総合体育館	◎中央体育館	① 総合体育館【学校併用】 ② 羽根木運動場 ③ 一色町体育館【学校併用】 ④ 一色ふゆみ海浜センター体育館 ⑤ 西三河地区総合体育館【併用】 ⑥ 吉良島外環陸上運動場体育館 ⑦ 東郷互体体育館【学校併用】	小学校2校 中学校7校 高等学校2校

注) 閉鎖・廃止予定施設は塗りつぶし  
■ 配置図

**2次評価(施設別)**

施設分類	No	施設名	数量	地域	スポーツ団体等集客・稼働状況
広域	1	総合体育館	1	富士、三和	プロスポーツや大規模大会・イベント誘致に期待がもたれる機能が不足
	2	中央体育館	1	西郷、赤坂	—
地域	3	総合体育館【学校併用】	1	西郷、赤坂	—
	4	羽根木運動場	1	平塚、寺津、福地	一色町体育館は学校併用のため稼働率低下。西郷地域の2施設は1施設としていくことが望まれる
	5	一色町体育館	1	一色	—
	6	一色ふゆみ海浜センター体育館	1	一色	—
	7	コミュニティ公園体育館	1	吉良	富士、三和地域には地域施設の立地がないが、地域施設としても利用できる総合体育館が立地しており新規施設の必要度は低い
8	吉良島外環陸上運動場	1	吉良	—	
9	東郷互体体育館	1	東郷	施設でスポーツ施設を確保する	

**② 2次評価**

施設分類	No	施設名	利用率	劣化評価	まちづくり評価	備考
広域	1	総合体育館	◎	△	◎	—
	2	中央体育館	◎	△	◎	—
地域	3	総合体育館	◎	△	◎	—
	4	羽根木運動場	◎	△	◎	—
	5	一色町体育館	◎	△	◎	—
	6	一色ふゆみ海浜センター体育館	△	△	△	機能改善により、利用促進上、安全確保上予定
	7	コミュニティ公園体育館	—	×	◎	老朽化、耐震不足により閉鎖(新施設に統廃合)
8	吉良島外環陸上運動場	◎	△	△	—	
9	東郷互体体育館	◎	△	◎	—	

※1: 利用率(2015年利用者の最大値) ◎90%以上 △80%以上 ○70%以上 ×60%未満  
 ※2: 耐震性 西三河公共施設長寿寿命化計画(耐震) 緑地等無(無) ◎1項目(耐震あり) △2項目(耐震あり) ×3項目以上(耐震あり)  
 ※3: 劣化評価 西三河公共施設長寿寿命化計画(劣化) ◎健全 △劣化 ○劣化 ×劣化

**方針**

- 老朽化が進むコミュニティ公園体育館及び吉良島外環陸上運動場体育館の閉鎖により、吉良島の地域施設がなくなることから、地域バランスを考慮した新設

**③ 統廃合・新施設等の方針**

統廃合・新設  
○基本方針  
○詳細方針

統廃合・新設  
○基本方針  
○詳細方針

統廃合・新設  
○基本方針  
○詳細方針





## ア) 体育館

### <1次評価結果>

1次評価	
ニーズ評価	市民【B継続活用】 スポーツ団体【A重点改善】
総量評価	(全国値下回り ・県値上回る)
上位計画・ まちづくり計画	新規整備候補

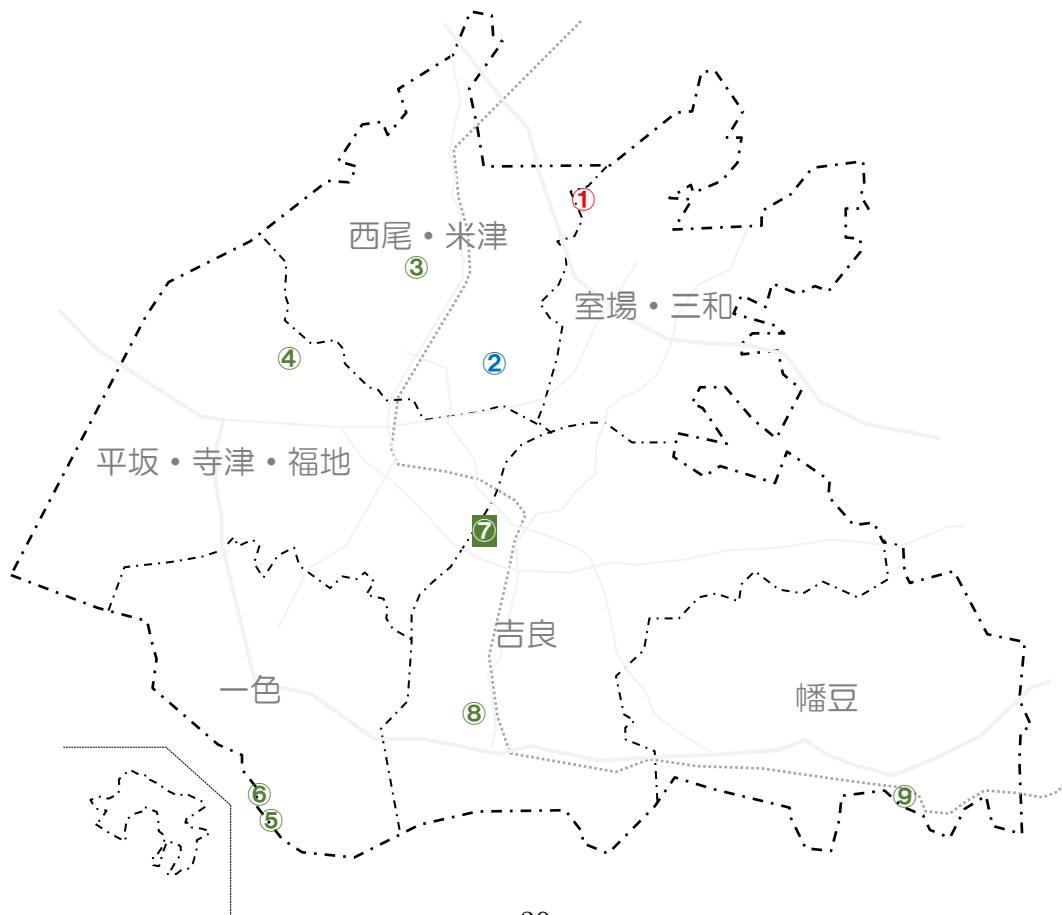
検討の方向性
<p>・ニーズは、A重点改善、B継続活用で適切な維持管理、施設改善が望まれるなか、総量は県値より高く供給されているが、学校が主に使用している3施設を除くと同レベルとなる。</p> <p>⇒老朽化、耐震化による更新に合わせて統廃合等を行い、上位計画により新施設を検討する。</p>

### <2次評価結果>

#### ■ 配置モデル(現状)

広域交流施設	中核施設	地域施設	
		スポーツ施設	学校開放
大規模集客やスポーツツーリズムが期待できる大会・イベントに活用できる施設	西三河地域の競技大会より大きな規模に対応できる施設	日常的な利用を目的とした施設	
①総合体育館	②中央体育館	③鶴城体育館 【学校併用】 ④羽塚武道場 ⑤一色町体育館 【学校併用】 ⑥一色 B&G 海洋センター体育館 ⑦コミュニティ公園体育館 【閉館】 ⑧吉良屋外趣味活動施設体育館 ⑨東幡豆体育館 【学校併用】	小学校 25 校 中学校 7 校 高等学校 3 校

#### ■ 配置図



■ 2次評価(施設別)

施設分類	No	施設名	数量	地域	スポーツ団体等要望・配置状況
広域	1	総合体育館	1	室場・三和	・プロスポーツや大規模大会・イベント誘致に向けては求められる機能が不足している。
中核	2	中央体育館	1	西尾・米津	—
地域	3	鶴城体育館【学校併用】	1	西尾・米津	・一色地域及び吉良地域では、1地域2施設となっているが、一色町体育館は学校併用のため維持するものとし、吉良地域の2施設は1施設としていくことが望まれる。  ・室場・三和地域には地域施設の立地がないが、地域施設としても利用できる総合体育館が立地しており新規施設の必要性は低い。  ・施設の立地がない地域は、学校開放により対応する。
	4	羽塚武道場	1	平坂・寺津・福地	
	5	一色町体育館【学校併用】	1	一色	
	6	一色 B&G 海洋センター体育館	1	一色	
	7	コミュニティ公園体育館	1	吉良	
	8	吉良野外趣味活動施設体育館	1	吉良	
	9	東幡豆体育館【学校併用】	1	幡豆	

施設分類	No	施設名	2次評価			備考
			利用状況評価※1	劣化状況評価※2	上位計画・まちづくり計画※3	
広域	1	総合体育館	◎	○	継続 (長寿命化)	劣化状況は令和2年度の改修を考慮
中核	2	中央体育館	◎	◎	継続 (長寿命化)	駐車場借地
地域	3	鶴城体育館	◎	○	継続 (長寿命化)	
	4	羽塚武道場	◎	○	継続 (長寿命化)	
	5	一色町体育館	◎	◎	継続 (長寿命化)	劣化状況は令和3年度の改修を考慮
	6	一色 B&G 海洋センター体育館	△	○	継続 (長寿命化)	劣化状況は令和4年度の改修を考慮
	7	コミュニティ公園体育館	—	△	統合	老朽化、耐震不足により廃止 (新施設に統廃合)
	8	吉良野外趣味活動施設体育館	○	△	統合	上位計画 (老朽化等) により統廃合予定 (新施設に統廃合)
	9	東幡豆体育館	◎	△	継続 (長寿命化)	定期的な修繕を計画

※1：利用率（平成30年度利用率の最大値90%以上◎、90%未満80%以上○、80%未満50%以上△、50%未満×）

※2：西尾市公共施設長寿命化計画劣化評価（健全度80点以上◎、80点未満70点以上○、70点未満40点以上△、40点未満×）

※3：西尾市公共施設長寿命化計画での方策

■ 方針

<p><b>統廃合・新施設等の方針</b></p> <p>○基本事項</p> <p>●詳細事項</p>	<p>○老朽化が進むコミュニティ公園体育館及び吉良屋外趣味活動施設体育館の廃止により、吉良地域の地域施設がなくなることから、地域バランスを考慮した新たな施設を整備していくことが望まれる。</p> <p>○プロスポーツや大規模大会誘致に向けた広域交流施設として総合体育館の機能が不足しており、将来的に広域交流拠点となる複合的な設備を備えた新たな体育館施設の整備を検討する。</p> <p>●吉良地域は体育館（スポーツ施設）の空白地域となる。一方、プロスポーツや大規模イベント等の誘致に向けては新たな交流拠点施設が必要となっていることから、吉良地域周辺に新たな交流拠点施設整備が望まれる。</p> <p>●新規施設の建設は、企業や公園事業と連携した施設整備を検討する。</p>
---	--



## イ)陸上競技場

### <1次評価結果>

1次評価		検討の方向性
ニーズ評価	市民【A重点改善】 スポーツ団体【A重点改善】	
総量評価	(全国値下回り ・県値上回る)	
上位計画・ まちづくり計画	—	

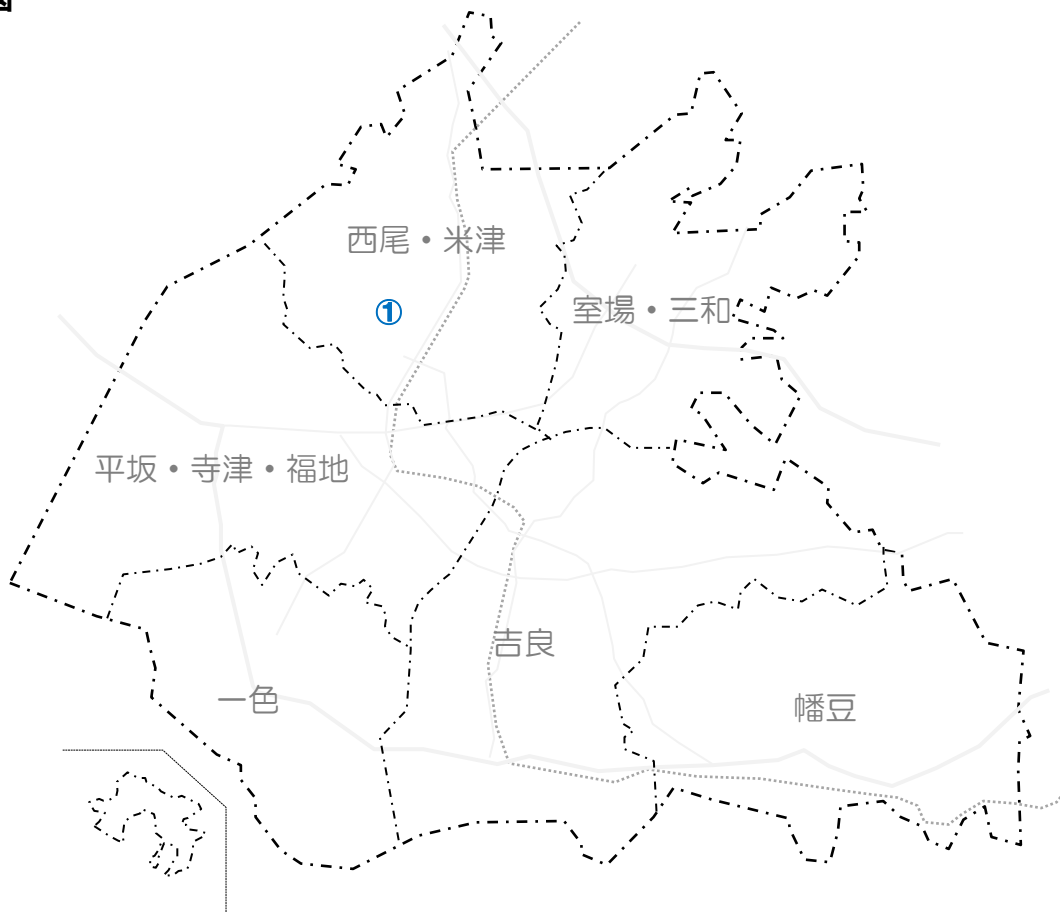
⇒施設改修や移転整備について検討する。

### <2次評価結果>

#### ■ 配置モデル(現状)

広域交流 施設	中核 施設	地域施設	
		スポーツ施設	学校開放
大規模集客やスポーツツーリズムが期待できる大会・イベントに活用できる施設	西三河地域の競技大会より大きな規模に対応できる施設	日常的な利用を目的とした施設	
—	①西尾公園 総合グラウンド	—	—

#### ■ 配置図



## ■ 2次評価(施設別)

施設分類	No	施設名	数量	地域	スポーツ団体等要望・配置状況
広域		—			スポーツ団体より質の高い施設が期待されている。 (現在は、野球場、サッカー場との併用施設) 土日に野球等の大会があり、陸上競技の練習が出来ないため、専用施設としての改修要望がある。
中核	1	西尾公園総合グラウンド	1	西尾・米津	
地域		—			

施設分類	No	施設名	2次評価			備考
			利用状況 評価※1	劣化状況 評価※2	上位計画・ まちづくり計画	
広域		—				
中核	1	西尾公園総合グラウンド	△	△	—	
地域		—				

※1：利用率（平成30年度利用率の最大値90%以上◎、90%未満80%以上○、80%未満50%以上△、50%未満×）

※2：劣化調査（2022年劣化調査の各項目の平均値80点以上◎、80点未満70点以上○、70点未満40点以上△、40点未満×）

## ■ 方針

<p><b>統廃合・新施設等の方針</b></p> <p>○基本事項</p> <p>●詳細事項</p>	<p>○西尾公園総合グラウンドは、本市唯一の400mトラックを有する陸上競技場で、公共交通機関の利便性が良く、今後の地域部活動でも利用が見込めることから、現在は、野球等が併用して利用出来る施設となっているが、今後、陸上競技専用施設としての改修を行う。</p> <p>●西尾公園総合グラウンドを利用しているスポーツ団体との調整を図りながら、全天候型で、必要な機能・設備を有する施設へ改修する。</p>
---	---



## ウ)野球場・ソフトボール場

### <1次評価結果>

#### □ 野球場

1次評価	
ニーズ評価	市民【A重点改善】 スポーツ団体【A重点改善】
総量評価	縮小・統廃合候補
上位計画・ まちづくり計画	—



検討の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズは、A重点改善で、スポーツ団体等からは、質の高い施設更新が望まれるなか、総量は、全国・県値とも高く供給されており、縮小、統廃合が必要である。</li> </ul> ⇒統廃合も含め施設整備を検討する。

#### □ ソフトボール場

1次評価	
ニーズ評価	市民【D運営検証】 スポーツ団体【D運営検証】
総量評価	縮小・統廃合候補
上位計画・ まちづくり計画	—



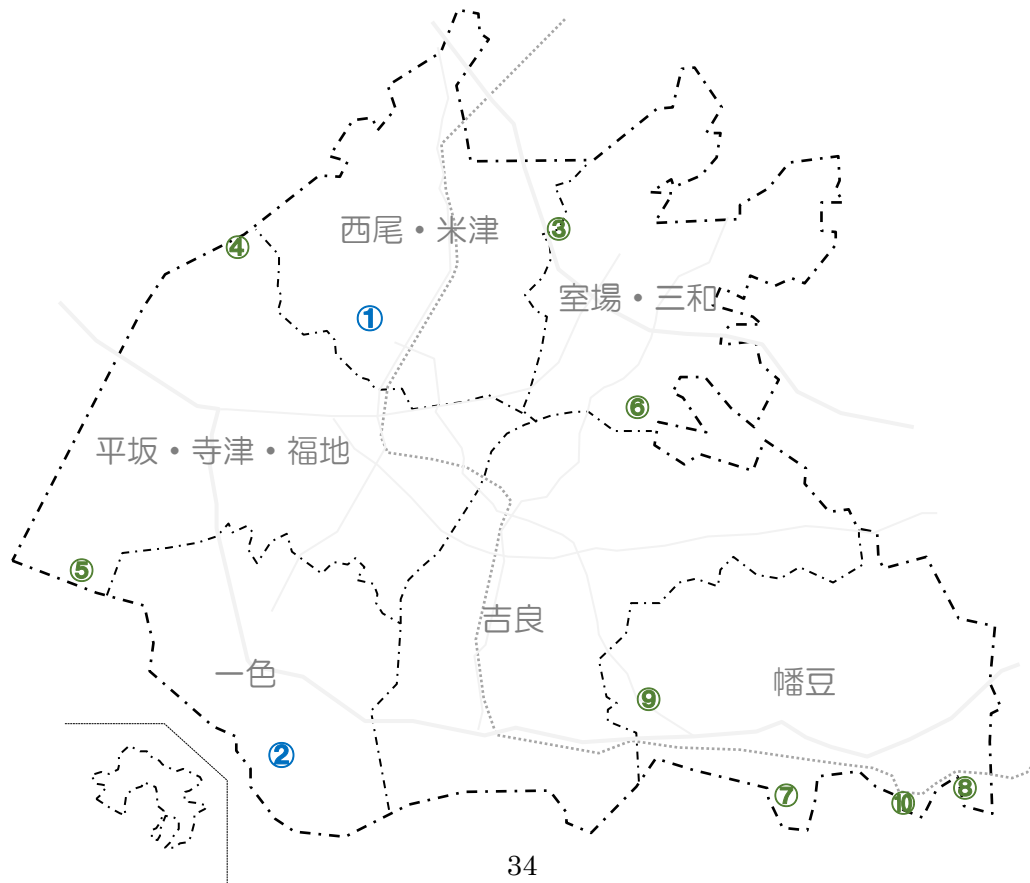
検討の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズは、D運営検証となるなか、総量は、全国・県値とも高く供給されており、縮小、統廃合が必要である。</li> </ul> ⇒河川敷施設、借地施設を中心に統廃合を検討する。

### <2次評価結果>

#### ■ 配置モデル(現状)

広域交流施設	中核施設	地域施設	
		スポーツ施設	学校開放
大規模集客やスポーツツーリズムが期待できる大会・イベントに活用できる施設	西三河地域の競技大会より大きな規模に対応できる施設	日常的な利用を目的とした施設	
なし	①西尾公園総合グラウンド ②坂田球場	③古川緑地 ④矢作川西尾緑地 ⑤みなとまち1号緑地 ⑥善明市民運動広場 ⑦寺部 ⑧緑ヶ崎 ⑨ふるさと公園 ⑩浜ノ山グラウンド	小学校6校 中学校2校

#### ■ 配置図



## ■ 2次評価(施設別)

施設分類	No	施設名	数量		地域	スポーツ団体等要望・配置状況
			野球	ソフト		
広域		—			—	
中核	1	西尾公園総合グラウンド	併用		西尾・米津	スポーツ団体から質の高い施設が期待されている。(西尾公園総合グラウンドは陸上競技場と併用)
	2	坂田球場	1	1	一色	
地域	3	古川緑地		2	西尾・米津	幡豆地域は、4施設6球場が整備されており過多の状況となっている。吉良地域には立地がないが、学校開放により対応している。
	4	矢作川西尾緑地	1(少年)	3	平坂・寺津・福地	
	5	みなとまち1号緑地	1(少年)		平坂・寺津・福地	
	6	善明市民運動広場	1	1	室場・三和	
	7	寺部	1	1	幡豆	
	8	緑ヶ崎	1		幡豆	
	9	ふるさと公園		1	幡豆	
	10	浜ノ山グラウンド		2	幡豆	

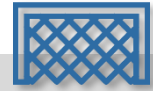
施設分類	No	施設名	2次評価			備考
			利用状況評価※1	劣化状況評価※2	上位計画・まちづくり計画	
広域		—				
中核	1	西尾公園総合グラウンド	—	△	—	陸上競技場との併用施設(陸上競技専用施設として改修)
	2	坂田球場	△	○	—	
地域	3	古川緑地	△	△	—	
	4	矢作川西尾緑地	◎	△	—	
	5	みなとまち1号緑地	○	△	—	
	6	善明市民運動広場	○	△	—	
	7	寺部	◎	△	—	ソフトボール場の一部が借地
	8	緑ヶ崎	◎	△	—	
	9	ふるさと公園	△	○	—	借地
	10	浜ノ山グラウンド	◎	△	—	無償借地

※1：利用率(平成30年度利用率の最大値90%以上◎、90%未満80%以上○、80%未満50%以上△、50%未満×)

※2：劣化調査(令和4年度劣化調査の各項目の平均値80点以上◎、80点未満70点以上○、70点未満40点以上△、40点未満×)

## ■ 方針

<p><b>統廃合・新施設等の方針</b></p> <p>○基本事項</p> <p>●詳細事項</p>	<p>○施設の総量としては、供給量が多くなっており、河川敷施設や借地施設等を中心に地域バランスを考慮し、統廃合を進める。</p> <p><b>【野球場】</b></p> <p>○利用状況等を参考に、河川敷施設を中心に統廃合を進めるとともに、中核・広域交流施設となる球場の整備を検討する。</p> <p>●既存施設を改修して、公式の野球場が整備できる施設がないため、企業等からの寄附や企業チームとの連携も考慮し、新規整備について検討する。</p> <p><b>【ソフトボール場】</b></p> <p>○河川敷施設や借地施設の統廃合について、学校開放施設の拡大を検討しながら進めていく。</p> <p>●坂田球場を中核施設として利用しているため、機能・設備を充実させる。</p>
---	--



## エ)サッカー場（球技場）

### <1次評価結果>

1次評価	
ニーズ評価	市民【A重点改善】 スポーツ団体【A重点改善】
総量評価	縮小・統廃合候補
上位計画・まちづくり計画	—



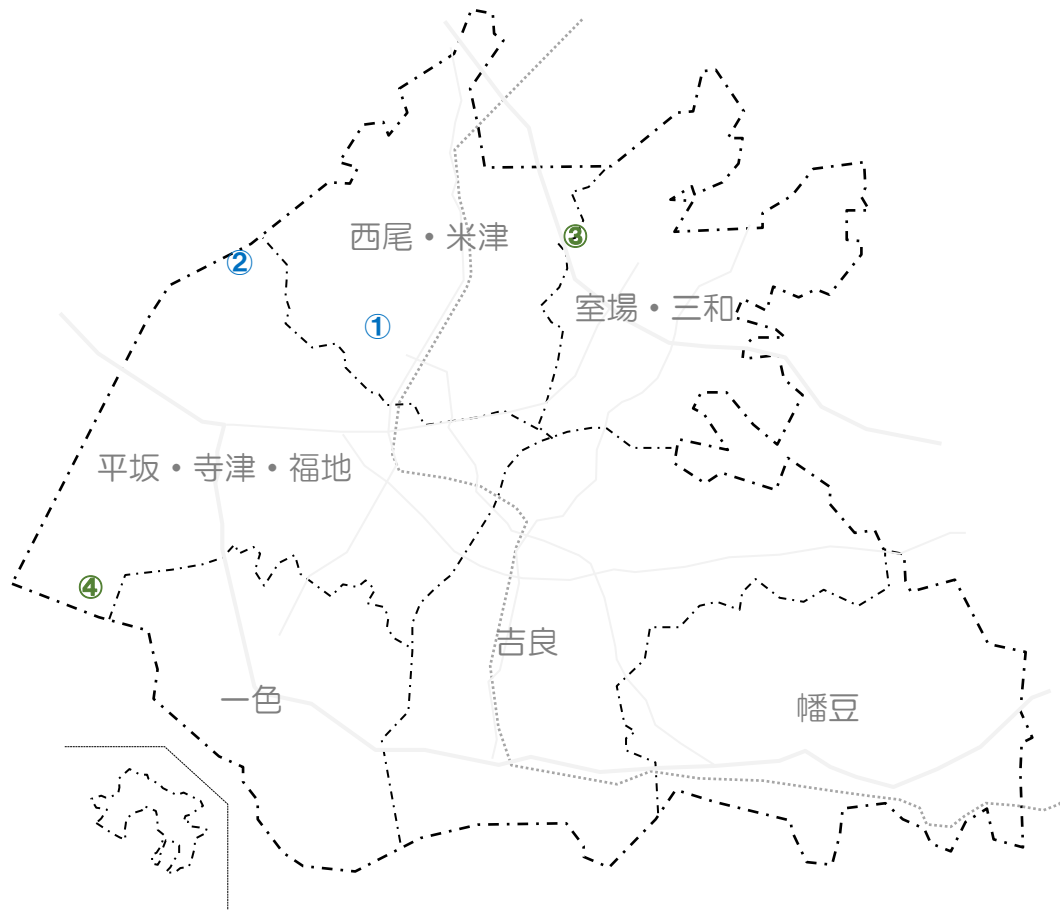
検討の方向性
<p>・ニーズは、A重点改善で、スポーツ団体等は、質の高い施設更新が望まれるなか、全国・県値とも高く供給されており、縮小、統廃合が必要となっている。</p> <p>⇒統廃合も含め施設整備を検討する。</p>

### <2次評価結果>

#### ■ 配置モデル(現状)

広域交流施設	中核施設	地域施設	
		スポーツ施設	学校開放
大規模集客やスポーツツーリズムが期待できる大会・イベントに活用できる施設	西三河地域の競技大会より大きな規模に対応できる施設	日常的な利用を目的とした施設	
なし	<p>①西尾公園総合グラウンド</p> <p>②矢作川西尾緑地</p>	<p>③古川緑地</p> <p>④みなとまち1号緑地</p>	小学校7校

#### ■ 配置図



■ 2次評価(施設別)

施設分類	No	施設名	数量	地域	スポーツ団体等要望・配置状況
広域		—		—	
中核	1	西尾公園総合グラウンド	併用	平坂・寺津・福地	スポーツ団体より質の高い施設が期待されている。 (西尾公園総合グラウンドは陸上競技場と併用) 既存施設は、大人ができるサッカー場がない。
	2	矢作川西尾緑地	2(少年)	平坂・寺津・福地	
地域	3	古川緑地	1	西尾・米津	4地域では立地がないが、日常的な練習については多目的グラウンドや学校開放により対応している。
	4	みなとまち1号緑地	1	平坂・寺津・福地	

施設分類	No	施設名	2次評価			備考
			利用状況 評価※1	劣化状況 評価※2	上位計画・ まちづくり計画	
広域		—				
中核	1	西尾公園総合グラウンド	—	△	—	
	2	矢作川西尾緑地	◎	△	—	
地域	3	古川緑地	◎	△	—	
	4	みなとまち1号緑地	○	△	—	

※1：利用率（平成30年度利用率の最大値90%以上◎、90%未満80%以上○、80%未満50%以上△、50%未満×）

※2：劣化調査（2022年劣化調査の各項目の平均値80点以上◎、80点未満70点以上○、70点未満40点以上△、40点未満×）

■ 方針

<p><b>統廃合・新施設等の方針</b></p> <p>○基本事項</p> <p>●詳細事項</p>	<p>○利用率の高い施設は多いが、河川の増水等で管理の難しい河川敷施設であるため、運営方法等について検討する。</p> <p>●西尾公園総合グラウンドを陸上競技場の施設として整備する際、トラックの中を質の高いサッカー場として更新していくことを検討する。</p>
---	--





## オ)多目的広場・運動場

### <1次評価結果>

1次評価	
ニーズ評価	—
総量評価	拡大、施設整備候補
上位計画・まちづくり計画	—



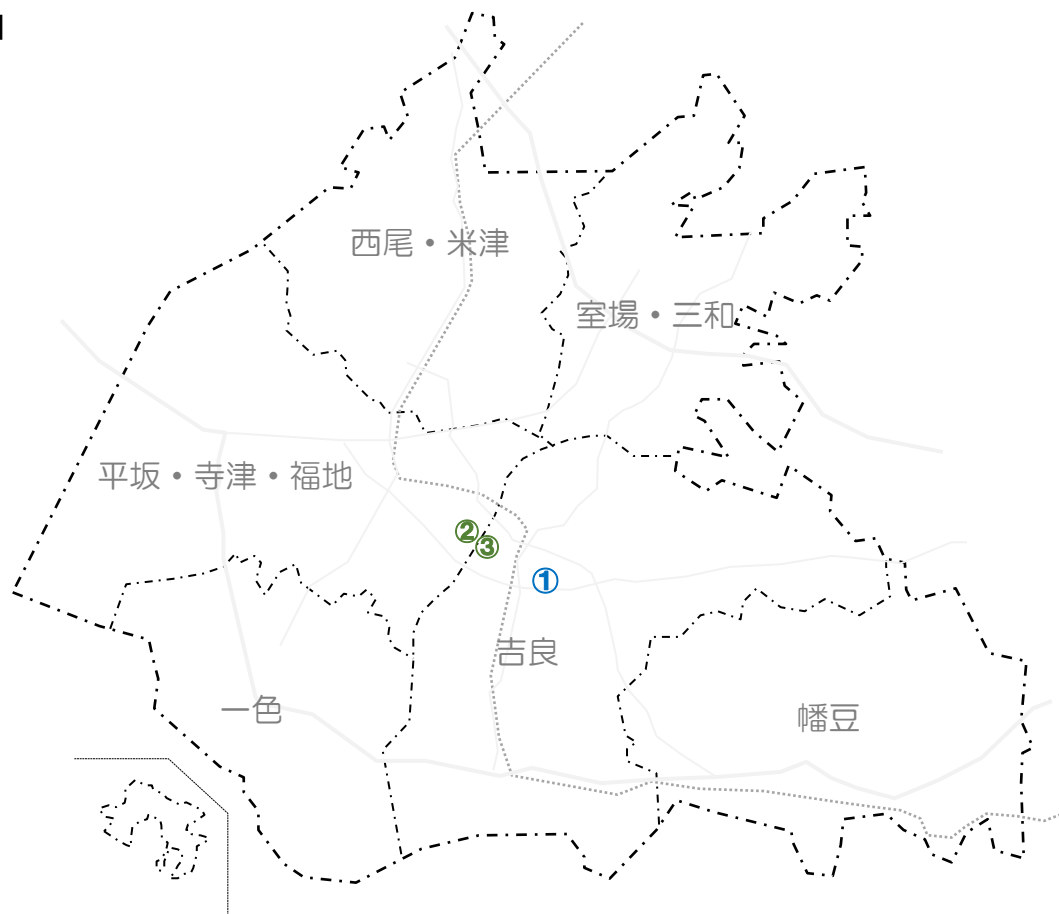
検討の方向性
⇒総量は全国・県値より低く供給されており、多目的広場等は、野球やソフトボール、サッカーなど他のスポーツも利用できることから他の施設の統廃合も含め検討する。

### <2次評価結果>

#### ■ 配置モデル(現状)

広域交流施設	中核施設	地域施設	
		スポーツ施設	学校開放
大規模集客やスポーツツーリズムが期待できる大会・イベントに活用できる施設	西三河地域の競技大会より大きな規模に対応できる施設	日常的な利用を目的とした施設	
なし	①横須賀公園	②古川右岸1号緑地 ③コミュニティ公園	小学校8校 中学校2校

#### ■ 配置図



## ■ 2次評価(施設別)

施設分類	No	施設名	数量	地域	スポーツ団体等要望・配置状況
広域		—			
中核	1	横須賀公園	1	吉良	野球場・ソフトボール場として利用している。
地域	2	古川右岸1号緑地	1	平坂・寺津・福地	多くの地域で立地していないが、学校開放により対応している。
	3	コミュニティ公園	1	吉良	

施設分類	No	施設名	2次評価			備考
			利用状況 評価※1	劣化状況 評価※2	上位計画・ まちづくり計画	
広域		—				
中核	1	横須賀公園	◎	○	—	
地域	2	古川右岸1号緑地	○	△	—	
	3	コミュニティ公園	○	△	—	公園内の体育館の廃止に伴い施設のあり方を検討

※1：利用率（平成30年度利用率の最大値90%以上◎、90%未満80%以上○、80%未満50%以上△、50%未満×）

※2：劣化調査（令和4年度劣化調査の各項目の平均値80点以上◎、80点未満70点以上○、70点未満40点以上△、40点未満×）

## ■ 方針

<p><b>統廃合・新施設等の方針</b></p> <p>○基本事項</p> <p>●詳細事項</p>	<p>○総量としては、全国・県値を下回っており施設数の増加又は維持が望まれるが、コミュニティ公園内の体育館の廃止に伴い施設のあり方を検討する。</p> <p>●他のスポーツ施設も含めた統廃合を検討し、公園事業を活用し、整備を検討する。</p>
---	---



## カ)テニスコート

### <1次評価結果>

1次評価	
ニーズ評価	—
総量評価	縮小・統廃合候補
上位計画・まちづくり計画	新規整備候補



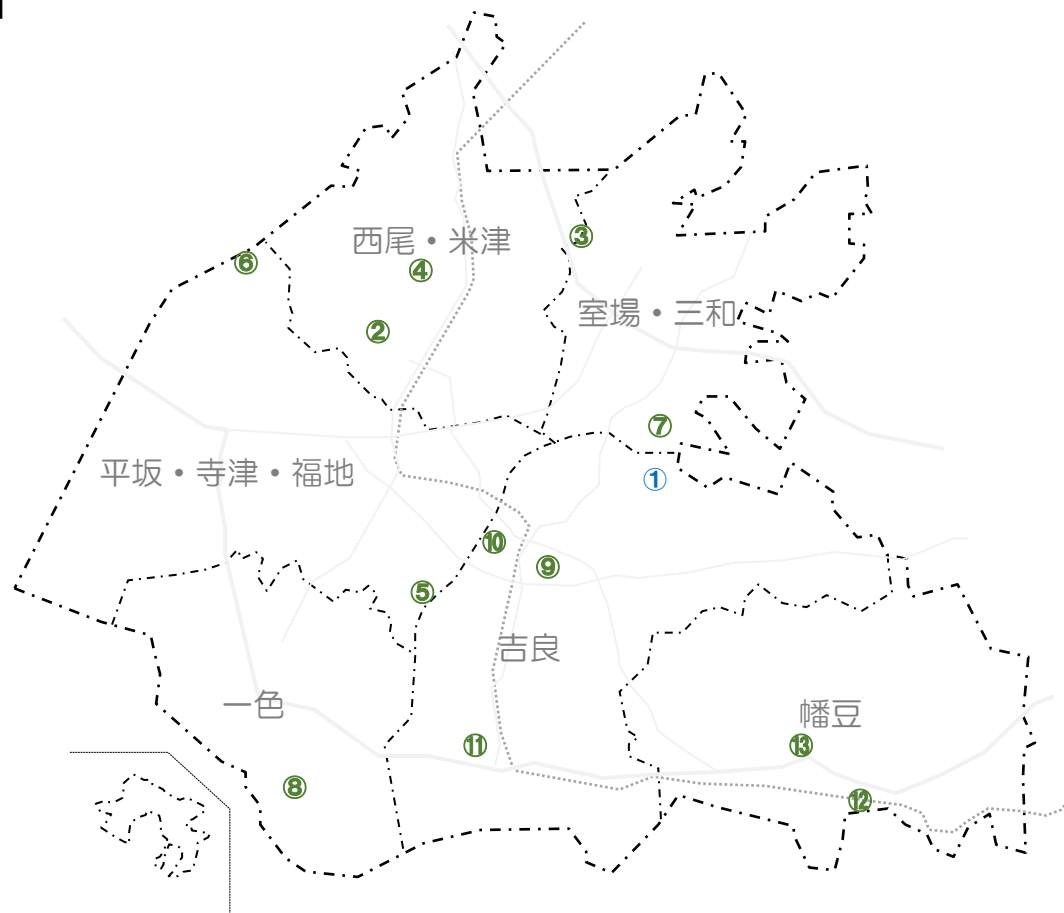
検討の方向性
⇒総量としては、県値の2倍と過大となっており、供給過多の地域での統廃合を検討するとともに、上位計画・まちづくり計画により、大規模大会の出来る施設を新規整備する。

### <2次評価結果>

#### ■ 配置モデル(現状)

広域交流施設	中核施設	地域施設	
		スポーツ施設	学校開放
大規模集客やスポーツツーリズムが期待できる大会・イベントに活用できる施設	西三河地域の競技大会より大きな規模に対応できる施設	日常的な利用を目的とした施設	
—	①(仮称)駿馬瀬戸地区テニスコート【整備予定】	②西尾公園テニスコート、③古川緑地、④鶴城公園、⑤古川右岸1号緑地、⑥矢作川西尾緑地、⑦善明市民運動広場、⑧坂田テニスコート、⑨横須賀公園、⑩コミュニティ公園、⑪吉良テニスコート場、⑫臨海公園テニスコート、⑬幡豆ふれあいテニスコート	—

#### ■ 配置図



## ■ 2次評価(施設別)

施設分類	No	施設名	数量(面数)	地域	スポーツ団体等要望・配置状況
広域		—			
中核	1	(仮称)駿馬瀬戸地区テニスコート【整備予定】	(8)	吉良	大規模大会が開催できる施設として、団体が要望する砂入り人工芝8面の整備を予定している。
地域	2	西尾公園テニスコート	4	西尾・米津	各地域1施設以上が整備されており、地域バランスを考慮し、統廃合を検討する。
	3	古川緑地	7	西尾・米津	
	4	鶴城公園	2	西尾・米津	
	5	古川右岸1号緑地	3	平坂・寺津・福地	
	6	矢作川西尾緑地	8	平坂・寺津・福地	
	7	善明市民運動広場	4	室場・三和	
	8	坂田テニスコート	4	一色	
	9	横須賀公園	2	吉良	
	10	コミュニティ公園	2	吉良	
	11	吉良テニスコート場	3	吉良	
	12	臨海公園テニスコート	3	幡豆	
	13	幡豆ふれあいテニスコート	3	幡豆	

施設分類	No	施設名	2次評価			備考
			利用状況評価※1	劣化状況評価※2	上位計画・まちづくり計画	
広域		—				
中核	1	(仮称)駿馬瀬戸地区テニスコート【整備予定】	—	—	—	大規模大会が開催できる施設として整備
地域	2	西尾公園テニスコート	◎	△	—	(仮称)生涯学習センターの整備に伴い廃止
	3	古川緑地	○	×	—	劣化改修に伴い一部用途変更を検討
	4	鶴城公園	◎	△	—	図書館、岩瀬文庫、鶴城公園の再整備の計画に合わせて検討
	5	古川右岸1号緑地	×	△	—	利用率が低く廃止検討
	6	矢作川西尾緑地	×	△	—	劣化改修に伴い一部用途変更を検討
	7	善明市民運動広場	◎	△	—	
	8	坂田テニスコート	×	△	—	地域バランスを考慮し検討
	9	横須賀公園	△	△	—	
	10	コミュニティ公園	○	△	—	公園内の体育館、管理棟の廃止に伴い、施設のあり方を検討
	11	吉良テニスコート場	△	○	—	
	12	臨海公園テニスコート	○	○	—	劣化による改修が必要
	13	幡豆ふれあいテニスコート	○	△	—	

※1：利用率（平成30年度利用率の最大値90%以上◎、90%未満80%以上○、80%未満50%以上△、50%未満×）

※2：劣化調査（令和4年度劣化調査の各項目の平均値80点以上◎、80点未満70点以上○、70点未満40点以上△、40点未満×）

## ■ 方針

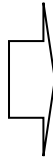
<p><b>統廃合・新施設等の方針</b></p> <p>○基本事項</p> <p>●詳細事項</p>	<p>○総量は過多となっており、管理が難しく、老朽化の著しい河川敷にあるテニスコートから廃止し、他の用途へ転用を図る。また、上位計画・まちづくり計画に則り、施設の統廃合について検討する。</p> <p>●現在、進めている(仮称)駿馬瀬戸地区テニスコート整備事業に合わせて、施設の統廃合を図る。</p>
---	--



## キ)屋内温水プール

### <1次評価結果>

1次評価	
ニーズ評価	市民【B継続活用】 スポーツ団体【B継続活用】
総量評価	(全国・県値下回る)
上位計画・ まちづくり計画	新規整備候補



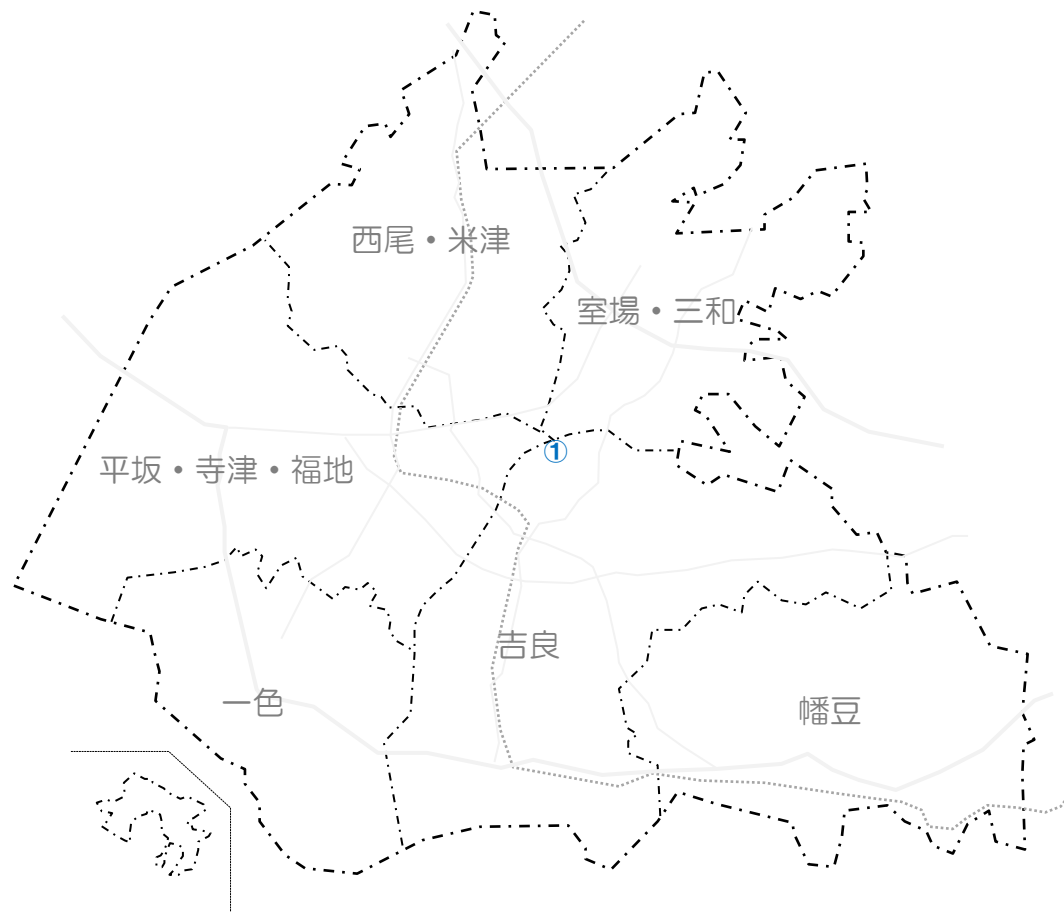
検討の方向性
<p>・屋内温水プールは、1箇所、市民のニーズもB継続活用で高く、スポーツ団体は、質の高い施設整備を望み、小学校プールの段階的な温水プールへの移行により、屋内温水プールの需要が高まる。</p> <p>⇒新規整備の検討を行う。</p>

### <2次評価結果>

#### ■ 配置モデル(現状)

広域交流 施設	中核 施設	地域施設	
		スポーツ施設	学校開放
大規模集客やスポーツツーリズムが期待できる大会・イベントに活用できる施設	西三河地域の競技大会より大きな規模に対応できる施設	日常的な利用を目的とした施設	
なし	①ふれあい広場 (ホワイトウェイブ21)	—	—

#### ■ 配置図



## ■ 2次評価(施設別)

施設分類	No	施設名	数量	地域	スポーツ団体等要望・配置状況
広域		—		—	競技練習、大会が開催できる50mプールが望まれている。
中核	1	ふれあい広場	1	吉良	
地域		—		—	

施設分類	No	施設名	2次評価			備考
			利用状況 評価※1	劣化状況 評価※2	上位計画・ まちづくり計画 ※3	
広域		—				
中核	1	ふれあい広場	—	○	なし	
地域		—				

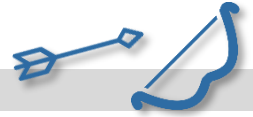
※1：利用率（平成30年度利用率の最大値90%以上◎、90%未満80%以上○、80%未満50%以上△、50%未満×）

※2：西尾市公共施設長寿命化計画劣化評価（健全度80点以上◎、80点未満70点以上○、70点未満40点以上△、40点未満×）

※3：西尾市公共施設長寿命化計画での方策

## ■ 方針

<p><b>統廃合・新施設等の方針</b></p> <p>○基本事項</p> <p>●詳細事項</p>	<p>○屋内温水プールは、1箇所、市民のニーズも高い。小学校プール全体計画において温水プールへの移行方針が示されていることから、屋内温水プールの需要が高まるため、ふれあい広場の適切な維持・改修に加え、新規施設の整備を検討する。</p> <p>●教育委員会は、小学校プール全体計画において、既設の温水プールの配置などを勘案し、地理的バランスに優れた市南部地域に整備を希望している。</p> <p>●建設は、民間活力の活用も含めた事業手法を検討するなど、施設整備費の縮減等を図る。</p> <p>●平日の午前、学校プール、平日の午後、土日祝日は、一般利用にするなど、施設の有効活用を図る。</p>
---	--

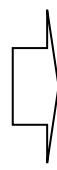


## ク)弓道場

### <1次評価結果>

#### □弓道場

1次評価	
ニーズ評価	市民【C維持検討】 スポーツ団体【D運営検証】
総量評価	— (評価なし)
上位計画・ まちづくり計画	縮小候補



検討の方向性
<p>・ニーズ評価でC維持検討、D運営検証、上位計画・まちづくり計画で縮小候補となっている。 ⇒上位計画での位置づけに沿って縮小させるものとする。</p>

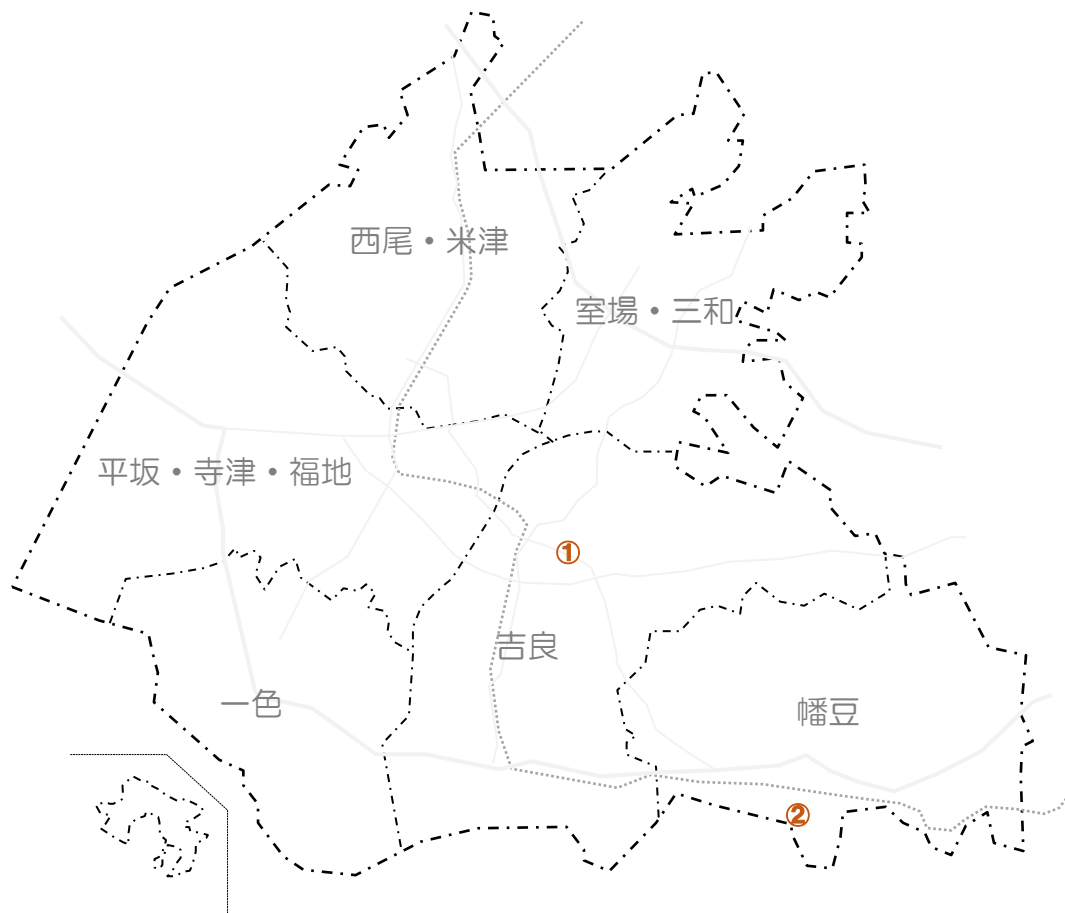
### <2次評価結果>

#### ■ 配置モデル(現状)

広域交流施設	中核施設	地域施設	
		スポーツ施設	学校開放
大規模集客やスポーツツーリズムが期待できる大会・イベントに活用できる施設	西三河地域の競技大会より大きな規模に対応できる施設	日常的な利用を目的とした施設	
—	—	①吉良弓道場 ②幡豆弓道場	—

注)総合体育館での併設は除く

#### ■ 配置図



■ 2次評価(施設別)

施設分類	No	施設名	数量	地域	スポーツ団体等要望・配置状況
広域		—			
中核		—			
地域	1	吉良弓道場	1	吉良	施設の修繕を行っていくことが望まれている。
	2	幡豆弓道場	1	幡豆	

施設分類	No	施設名	2次評価			備考
			利用状況 評価※1	劣化状況 評価※2	上位計画・ まちづくり計画 ※3	
広域		—				
中核		—				
地域	1	吉良弓道場	×	○	統合	借地となっており、上位計画でも統合の位置づけ
	2	幡豆弓道場	×	○	廃止	借地となっており、利用率も低く廃止検討

※1：利用率（平成30年度利用率の最大値90%以上○、90%未満80%以上○、80%未満50%以上△、50%未満×）

※2：西尾市公共施設長寿命化計画劣化評価（健全度80点以上○、80点未満70点以上○、70点未満40点以上△、40点未満×）

※3：西尾市公共施設長寿命化計画での方策

■ 方針

<p><b>統廃合・新施設等の方針</b></p> <p>○基本事項</p>	<p>○館内施設として総合体育館にも整備されるなか、利用率も低いことから、上位計画により1施設を廃止とする。</p>
--	--





## ケ)グラウンドゴルフ場・ゲートボール場

### <1次評価結果>

1次評価		検討の方向性
ニーズ評価	市民【D運営検証】 スポーツ団体【D運営検証】	
総量評価	— (評価なし)	
上位計画・ まちづくり計画	—	

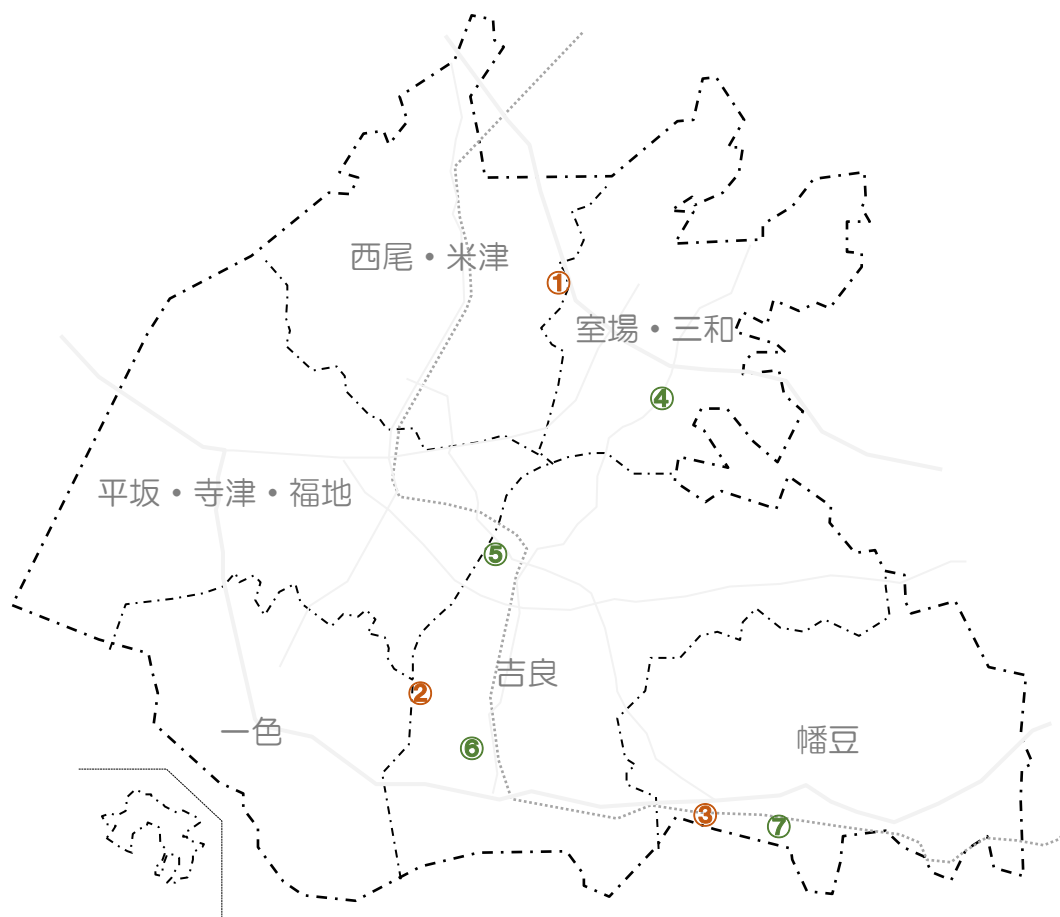
⇒グラウンド・ゴルフは、多目的広場等でも利用できることから、統廃合も含め検討する。

### <2次評価結果>

#### ■ 配置モデル(現状)

広域交流 施設	中核 施設	地域施設	
		スポーツ施設	学校開放
大規模集客やスポーツツーリズムが期待できる大会・イベントに活用できる施設	西三河地域の競技大会より大きな規模に対応できる施設	日常的な利用を目的とした施設	
なし	—	<グラウンド・ゴルフ場> ①グラウンド・ゴルフ2 3 ②吉良グラウンド・ゴルフ場 ③松原グラウンド・ゴルフ場 <ゲートボール場> ④室市民運動広場 ⑤コミュニティ公園 ⑥吉良野外趣味活動施設 ⑦寺部ゲートボール場	—

#### ■ 配置図



## ■ 2次評価(施設別)

施設分類	No	施設名	数量	地域	スポーツ団体等要望・配置状況
広域		—			
中核		—			
地域	1	グラウンド・ゴルフ23	2	西尾・米津	練習で個人的に楽しむために地域に施設があることが望ましい。 多目的な芝施設であれば、大会が開催できる河川敷は、大会を開催するには駐車場が不足している。
	2	吉良グラウンド・ゴルフ場	1	吉良	
	3	松原グラウンド・ゴルフ場	1	幡豆	
	4	室市民運動広場	2	室場・三和	
	5	コミュニティ公園	1	吉良	
	6	吉良野外趣味活動施設	1	吉良	
	7	寺部ゲートボール場	1	幡豆	

施設分類	No	施設名	2次評価			備考
			利用状況 評価※1	劣化状況 評価※2	上位計画・ まちづくり計画	
広域		—				
中核		—				
地域	1	グラウンド・ゴルフ23	◎	○	—	
	2	吉良グラウンド・ゴルフ場	—	○	—	借地
	3	松原グラウンド・ゴルフ場	×	△	—	借地
	4	室市民運動広場	×	○	—	
	5	コミュニティ公園	△	○	—	公園内の体育館、管理棟の廃止に伴い施設のあり方を検討
	6	吉良野外趣味活動施設	—	△	—	
	7	寺部ゲートボール場	—	×	—	借地で、施設の老朽化が進んでいるため廃止検討

※1：利用率（平成30年度利用率の最大値90%以上◎、90%未満80%以上○、80%未満50%以上△、50%未満×）

※2：劣化調査（令和4年度劣化調査の各項目の平均値80点以上◎、80点未満70点以上○、70点未満40点以上△、40点未満×）

## ■ 方針

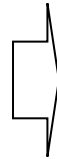
<p><b>統廃合・新施設等の方針</b></p> <p>○基本事項</p> <p>●詳細事項</p>	<p>○グラウンド・ゴルフは、他のグラウンド等でも実施可能な競技であり、利用状況や維持費用を踏まえ、統廃合を検討する。</p> <p>○統廃合については、借地施設を中心に、借地面積等を考慮して検討する。</p> <p>●河川敷の他施設を廃止する際に、用途変更を検討する。</p>
---	---



## コ)アーチェリー・スケートボード

### <1次評価結果>

1次評価	
ニーズ評価	市民【C維持検討】 スポーツ団体 アーチェリー【D運営検証】 スケートボード【C維持検討】
総量評価	— (評価なし)
上位計画・ まちづくり計画	—



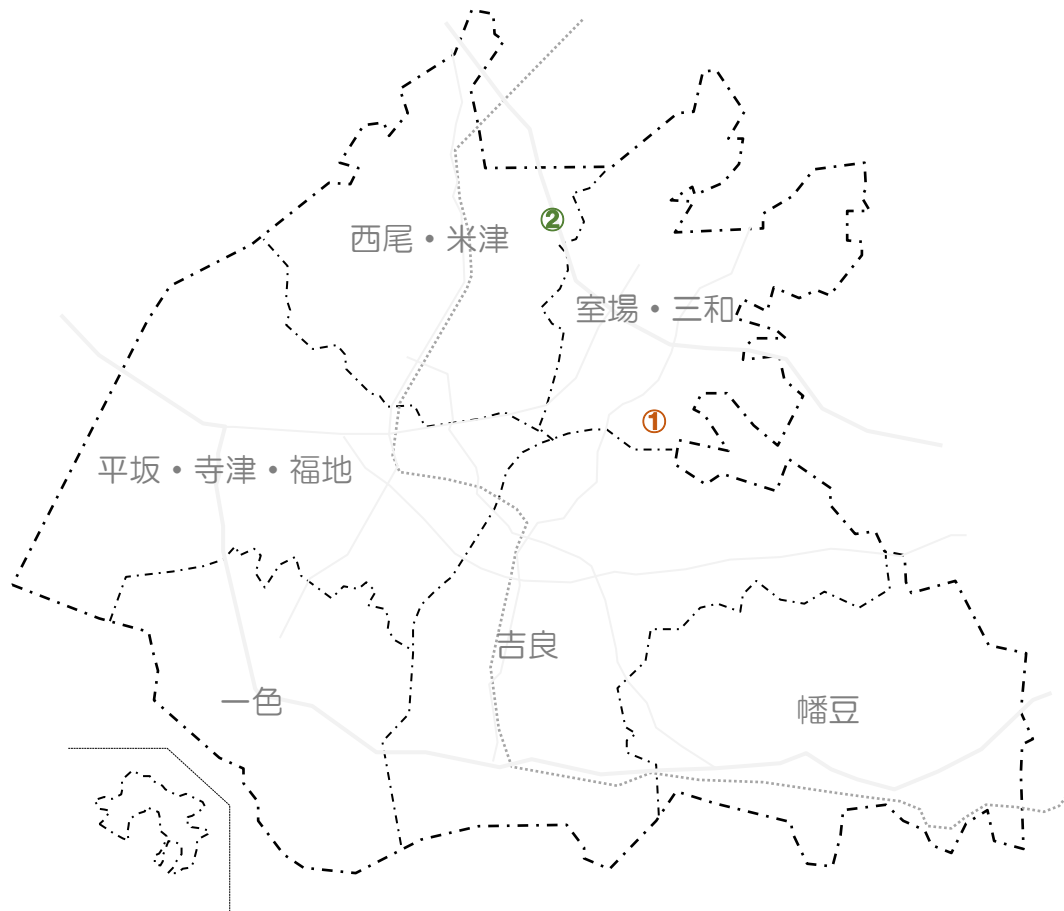
検討の方向性
⇒ 1箇所しかないため現状維持を前提とする。

### <2次評価結果>

#### ■ 配置モデル(現状)

広域交流 施設	中核 施設	地域施設	
		スポーツ施設	学校開放
大規模集客やスポーツツーリズムが期待できる大会・イベントに活用できる施設	西三河地域の競技大会より大きな規模に対応できる施設	日常的な利用を目的とした施設	
なし	—	[アーチェリー] ①善明市民運動広場 [スケートボード] ②国道23号高架下スポーツ施設	—

#### ■ 配置図



■ 2次評価(施設別)

施設分類	No	施設名	数量	地域	スポーツ団体等要望・配置状況
広域		—			
中核		—			
地域	1	善明市民運動広場	1	室場・三和	
	2	国道23号高架下スポーツ施設	1	西尾・米津	

施設分類	No	施設名	2次評価			備考
			利用状況 評価※1	劣化状況 評価※2	上位計画・ まちづくり計画	
広域		—				
中核		—				
地域	1	善明市民運動広場	○	○	—	
	2	国道23号高架下スポーツ施設	△	○	—	

※1：利用率（平成30年度利用率の最大値90%以上○、90%未満80%以上○、80%未満50%以上△、50%未満×）

※2：劣化調査（令和4年度劣化調査の各項目の平均値80点以上○、80点未満70点以上○、70点未満40点以上△、40点未満×）

■ 方針

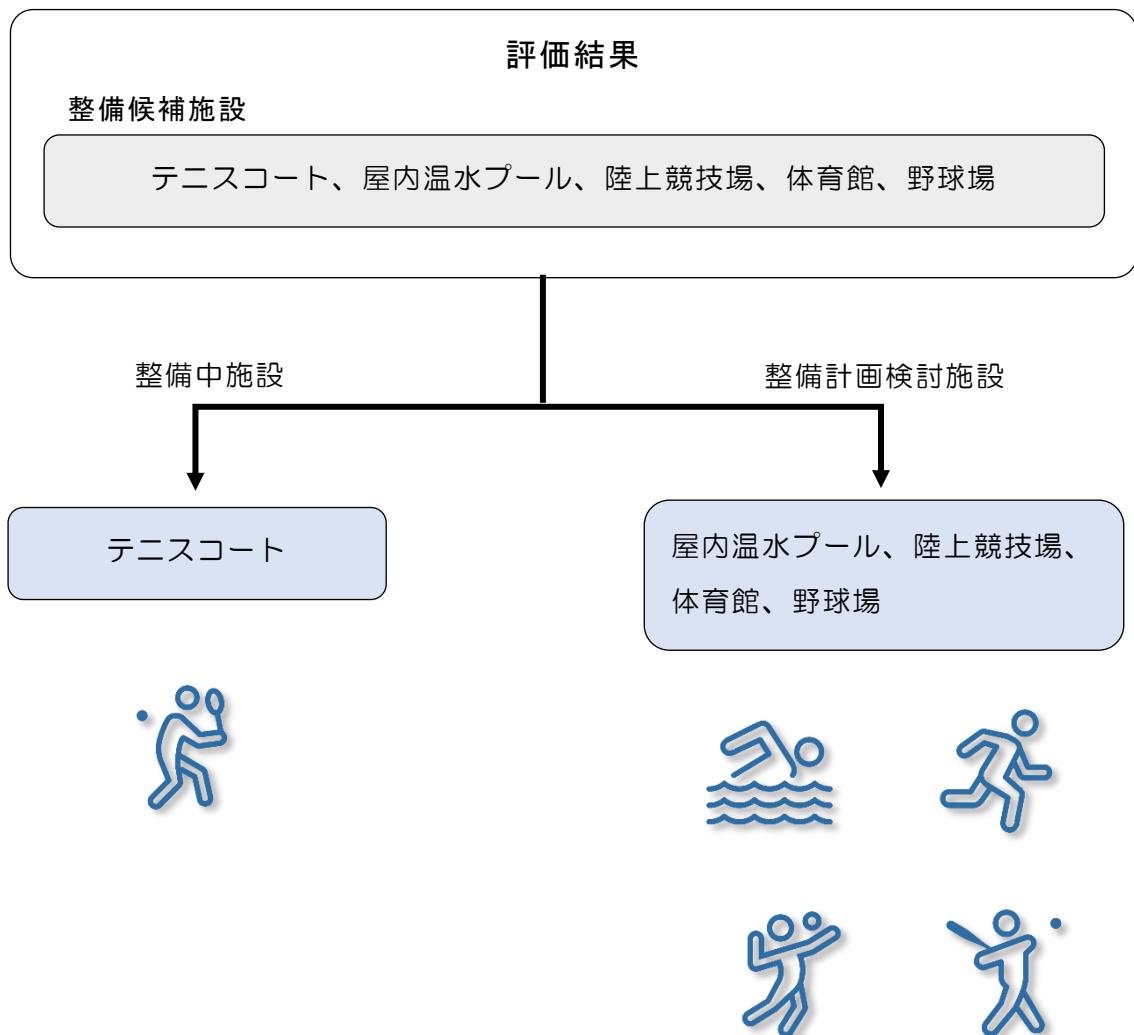
<b>統廃合・新施設等の方針</b> ○基本事項 ●詳細事項	○1箇所だけの施設となっており廃止とせず維持していくものとする。 ●スケートボード場は、河川敷の他施設を廃止する際に、用途変更を検討する。
--------------------------------------	--

## ② 整備候補施設の整備方針

施設別の統廃合・新施設等の方針から5施設（テニスコート、屋内温水プール、陸上競技場、体育館、野球場）を整備候補施設として整理しました。

このうち、テニスコートは駿馬瀬戸地区で整備事業を進めており、屋内温水プールについても学校プールの廃止に伴い早期に整備を進めていく必要があります。

その他の施設については、企業連携や既存施設の利用団体との調整等が必要であり、これらの検討課題をクリアし、計画を進める必要があります。また、新規整備にあたっては、西尾市総合運動場整備基金や交付金などの財源面、事業費や維持管理、施設利用などのコスト面も考慮し、総合的な検討を行い、施設整備が望ましいと判断された施設について、長期的な視点で整備を検討します。



## 1) 整備方針

### ア)整備中施設



#### ●テニスコート

	テニスコート
整備の経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果からテニスコートのニーズが高い。</li> <li>団体から大会ができるテニスコート整備（8面）が望まれている。</li> <li>駿馬瀬戸地区工業用地開発計画の協議を愛知県、（株）デンソーと進める中で、西尾市が田畑を取得し、地域還元型の公園等で整備する方針となった。</li> <li>有効な土地利用について市各部局に紹介があり、土地の形状などからテニスコートと公園を整備する。</li> </ul>
整備に向けた考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソフト、硬式テニスの両方ができる砂入り人工芝のコートを整備する。</li> <li>地域住民のアンケートより、ウォーキングコースや公園に遊具等を設置する。</li> <li>テニスの大会（ソフト・硬式）は、年に29回程度あり、更なる活用を図る。</li> </ul>
整備地 (候補地)	吉良町 駿馬瀬戸地区
整備費※1	造成・施設整備：9.5億円 <算定想定> 基本設計による概算金額 （砂入り人工芝8面、ナイター設備12基、管理棟、駐車場、ウォーキングコース、トイレ、健康遊具等） 注）土地は、取得済み。
ライフサイクルコスト (LCC)※2	目標使用年数80年間、大規模修繕40年、部位・予防保全修繕等 LCC：17.9億円（0.22億円/年） 【整備費・設計費】10.0億円 【維持管理費】7.9億円
その他 (交付金・助成金等の活用)	スポーツ振興くじ助成金（スポーツくじTOTO）グラウンド芝生化事業（助成対象経費限度額6千万円で助成割合は4/5） 注）抽選のため補助金の該当にならない場合もある。 公園（遊具広場、多目的広場）の施設整備は、愛知県補助金の活用を予定するため、テニスコートの開設時期より遅れる。

※1：基本設計による概算金額を記載しており、物価高騰等により整備費用が増加する場合がある。

※2：西尾市公共施設長寿命化計画を参考に建築物は、部位修繕、予防保全修繕を試算しているが、工作物等は、専門業者からの間取りにより主なものの修繕等を試算している。

施設の維持管理費は、西尾市や近隣市の同規模施設等を参考に試算し、人件費は施設のLCCのため試算をしていない。

設計費は、令和3年度基本設計費、令和4年度実施設計費の合計額を記載している。

## イ)整備計画検討施設



### ●屋内温水プール

屋内温水プール					
整備の経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果から屋内温水プールのニーズが高い。</li> <li>団体から大会ができる質の高い施設整備が望まれている。</li> <li>公設の温水プールは、1箇所で全国、愛知県と比較して少ない。</li> <li>教育委員会は、小学校プール全体計画において、水泳授業を屋内温水プールへ移行する方針を示しており、既設の温水プールの配置などを勘案し、地理的バランスに優れた市南部地域に整備を希望している。</li> </ul>				
整備に向けた考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設は、民間活力の活用も含めた事業手法（設計・施工を一括発注（DB方式）等）を検討するなど、施設整備費の縮減や工期の短縮を図る。</li> <li>平日の午前、学校プール、平日の午後、土日祝日は、一般開放により施設の有効活用を図る。</li> </ul>				
整備地（候補地）	一色町地内（候補地）				
整備内容	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:50%;">25mプール</th> <th style="width:50%;">50mプール</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <b>整備費※1</b>            建物：10.3億円            &lt;算定想定&gt;            近年建設事業費の平均単価（60.8万円/㎡）×延床面積 1,700㎡            （25mプール7コース、小プール：水面積 400㎡）（更衣室、多目的ルーム等）            注）土地取得、地盤改良費は、含まない。         </td> <td> <b>整備費※1</b>            建物：21.3億円            &lt;算定想定&gt;            近年建設事業費の平均単価（60.8万円/㎡）×延床面積 3,500㎡            （50mプール6コース、25mプール6コース、小プール：水面積 1,100㎡）（更衣室、多目的ルーム等）            注）土地取得、地盤改良費は、含まない。         </td> </tr> </tbody> </table>	25mプール	50mプール	<b>整備費※1</b> 建物：10.3億円 <算定想定> 近年建設事業費の平均単価（60.8万円/㎡）×延床面積 1,700㎡ （25mプール7コース、小プール：水面積 400㎡）（更衣室、多目的ルーム等） 注）土地取得、地盤改良費は、含まない。	<b>整備費※1</b> 建物：21.3億円 <算定想定> 近年建設事業費の平均単価（60.8万円/㎡）×延床面積 3,500㎡ （50mプール6コース、25mプール6コース、小プール：水面積 1,100㎡）（更衣室、多目的ルーム等） 注）土地取得、地盤改良費は、含まない。
25mプール	50mプール				
<b>整備費※1</b> 建物：10.3億円 <算定想定> 近年建設事業費の平均単価（60.8万円/㎡）×延床面積 1,700㎡ （25mプール7コース、小プール：水面積 400㎡）（更衣室、多目的ルーム等） 注）土地取得、地盤改良費は、含まない。	<b>整備費※1</b> 建物：21.3億円 <算定想定> 近年建設事業費の平均単価（60.8万円/㎡）×延床面積 3,500㎡ （50mプール6コース、25mプール6コース、小プール：水面積 1,100㎡）（更衣室、多目的ルーム等） 注）土地取得、地盤改良費は、含まない。				
ライフサイクルコスト（LCC）※1	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標使用年数50年間、大規模改修30年、小規模改修</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width:50%;">           LCC：28.4億円（0.57億円/年）            【整備費・設計費】 10.7億円            【維持管理費】 17.7億円         </td> <td style="width:50%;">           LCC：54.4億円（1.09億円/年）            【整備費・設計費】 22.1億円            【維持管理費】 32.3億円         </td> </tr> </tbody> </table>	目標使用年数50年間、大規模改修30年、小規模改修		LCC：28.4億円（0.57億円/年） 【整備費・設計費】 10.7億円 【維持管理費】 17.7億円	LCC：54.4億円（1.09億円/年） 【整備費・設計費】 22.1億円 【維持管理費】 32.3億円
目標使用年数50年間、大規模改修30年、小規模改修					
LCC：28.4億円（0.57億円/年） 【整備費・設計費】 10.7億円 【維持管理費】 17.7億円	LCC：54.4億円（1.09億円/年） 【整備費・設計費】 22.1億円 【維持管理費】 32.3億円				
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ライフサイクルコストが低く抑えられる。</li> <li>○教育委員会の要望する施設規模の整備となる。</li> </ul>				
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水深が1.1m程度のため飛込みによる大会を開催することは難しい。</li> <li>●水深が1.35mとなり学校プールの利用には別プールが必要となる。</li> <li>●ライフサイクルコストが高くなる。</li> <li>●敷地面積が、大きくなる。</li> </ul>				
その他（交付金・助成金等の活用）	学校施設環境改善交付金の地域水泳プール新改築事業 参考：交付金 2.0～3.0億円（水面積 400㎡～600㎡（上限）） 注）交付金の条件として、災害時にプール水を飲料水等に活用できる浄化装置を備えていること。				

※1：25mプールは、教育委員会の小学校プール全体計画の試算額を基に人件費等を除いて記載をしている  
 50mプールは、延床面積に合わせて整備費用を算定し、小学校プール全体計画の試算方法に合わせる。  
 整備費は、近年建設事業費平均単価より記載しており物価高騰等により整備費が増加する場合がある。  
 設計費は、近年建設事業より記載している。

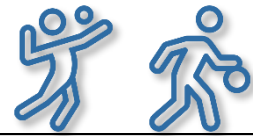
●陸上競技場



陸上競技場			
整備の経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果から陸上競技場のニーズが高い。</li> <li>現在は、総合グラウンドとして、野球やサッカーとしても併用しているが、団体から全天候型の陸上競技施設の整備が望まれている。</li> </ul>		
整備に向けた考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合グラウンドが唯一の陸上競技場であり、大会開催に配慮した整備が必要である。</li> <li>トラック内は、サッカー場として整備する。</li> <li>サッカー場は、企業等との連携も含め、活用を検討する。</li> </ul>		
整備候補地	<table border="1"> <tr> <td>西尾市総合グラウンド（再整備）</td> <td>坂田球場（用途変更整備）</td> </tr> </table>	西尾市総合グラウンド（再整備）	坂田球場（用途変更整備）
西尾市総合グラウンド（再整備）	坂田球場（用途変更整備）		
整備費	<p>全天候型トラック、人工芝（トラック内）：5.9億円                      &lt;算定想定&gt;：専門業者からの見積費用                      全天候型8レーン、走幅跳、サッカー場（芝）、大型倉庫など                      照明、スタンドは、既設を利用</p>		
ライフサイクルコスト（LCC）※1	<table border="1"> <tr> <td>                     建設が昭和40年のため今後の目標使用年数を20年間と設定                      修繕等は、新設するトラック、人工芝を対象                      LCC：8.6億円                      （0.43億円/年）                      【整備費・設計費】6.5億円                      【維持管理費】2.1億円                 </td> <td>                     建設が昭和60年のため今後の目標使用年数を40年間と設定                      修繕等は、新設するトラック、人工芝を対象                      LCC：13.9億円                      （0.35億円/年）                      【整備費・設計費】6.5億円                      【維持管理費】7.4億円                 </td> </tr> </table>	建設が昭和40年のため今後の目標使用年数を20年間と設定 修繕等は、新設するトラック、人工芝を対象 LCC：8.6億円 （0.43億円/年） 【整備費・設計費】6.5億円 【維持管理費】2.1億円	建設が昭和60年のため今後の目標使用年数を40年間と設定 修繕等は、新設するトラック、人工芝を対象 LCC：13.9億円 （0.35億円/年） 【整備費・設計費】6.5億円 【維持管理費】7.4億円
建設が昭和40年のため今後の目標使用年数を20年間と設定 修繕等は、新設するトラック、人工芝を対象 LCC：8.6億円 （0.43億円/年） 【整備費・設計費】6.5億円 【維持管理費】2.1億円	建設が昭和60年のため今後の目標使用年数を40年間と設定 修繕等は、新設するトラック、人工芝を対象 LCC：13.9億円 （0.35億円/年） 【整備費・設計費】6.5億円 【維持管理費】7.4億円		
メリット	<table border="1"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新規整備に比べスタンド、照明があることから、整備費用を抑えることができる。</li> <li>○中心地にあるため公共交通の便が良く、学生等も利用し易く、今後の地域部活動でも利用が見込める。</li> <li>○イベント等でも、施設の利活用が見込める。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○整備後に総合グラウンドより移転することで、大会等の開催が円滑に実施できる。</li> </ul> </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新規整備に比べスタンド、照明があることから、整備費用を抑えることができる。</li> <li>○中心地にあるため公共交通の便が良く、学生等も利用し易く、今後の地域部活動でも利用が見込める。</li> <li>○イベント等でも、施設の利活用が見込める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○整備後に総合グラウンドより移転することで、大会等の開催が円滑に実施できる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○新規整備に比べスタンド、照明があることから、整備費用を抑えることができる。</li> <li>○中心地にあるため公共交通の便が良く、学生等も利用し易く、今後の地域部活動でも利用が見込める。</li> <li>○イベント等でも、施設の利活用が見込める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○整備後に総合グラウンドより移転することで、大会等の開催が円滑に実施できる。</li> </ul>		
デメリット	<table border="1"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>●市内唯一の陸上競技場であり、大会等での利用に支障のないよう短期間で改修を行う必要がある。</li> <li>●トラック内側を野球としての利用ができなくなり、団体との調整が必要となる。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ソフトボールの大規模大会で使用しているため、団体との調整が必要となる。</li> <li>●駐車場が不足しており、大会等の開催時には、臨時駐車場を確保する必要がある。</li> <li>●公共交通に難ありで、日常、学生等が利用しづらく、大会等の開催時には、バス等の運行を行う必要がある。</li> </ul> </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内唯一の陸上競技場であり、大会等での利用に支障のないよう短期間で改修を行う必要がある。</li> <li>●トラック内側を野球としての利用ができなくなり、団体との調整が必要となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ソフトボールの大規模大会で使用しているため、団体との調整が必要となる。</li> <li>●駐車場が不足しており、大会等の開催時には、臨時駐車場を確保する必要がある。</li> <li>●公共交通に難ありで、日常、学生等が利用しづらく、大会等の開催時には、バス等の運行を行う必要がある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内唯一の陸上競技場であり、大会等での利用に支障のないよう短期間で改修を行う必要がある。</li> <li>●トラック内側を野球としての利用ができなくなり、団体との調整が必要となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ソフトボールの大規模大会で使用しているため、団体との調整が必要となる。</li> <li>●駐車場が不足しており、大会等の開催時には、臨時駐車場を確保する必要がある。</li> <li>●公共交通に難ありで、日常、学生等が利用しづらく、大会等の開催時には、バス等の運行を行う必要がある。</li> </ul>		
その他（交付金・助成金等の活用）	<p>社会資本整備総合交付金の公園事業の活用                      （交付金：施設整備1/2）</p>		

※1：天然芝で、LCCを試算すると総合グラウンドが0.53億円/年、坂田球場が0.43億円/年となる  
 設計費は、整備費の10%を想定し記載している。



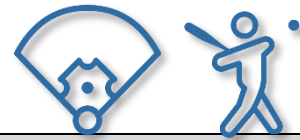


●体育館(アリーナ)

体育館(アリーナ)			
整備の経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果から体育館のニーズが高い。</li> <li>体育館は、学校体育館としての利用施設を除くと、国、愛知県と比較して少なく、プロスポーツや大規模大会誘致に向けた体育館が不足している。</li> <li>吉良地区の体育館を老朽化・耐震不足により廃止予定である。</li> </ul>		
整備に向けた考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設は、企業との連携を検討し、体育館の規模についてもこの過程で検討する。(広域交流施設・中核施設・地域施設)</li> <li>総合的な施設整備について公園事業を含み検討する。</li> <li>スポーツ協会等と連携し、プロスポーツ大会やイベント等の誘致により施設の活用や、観光協会等と連携しスポーツツーリズムの促進を検討する。</li> </ul>		
整備候補地	吉良町 横須賀地区<<新生活拠点>>(候補地)		
整備費※1	<table border="1"> <tr> <td>           建物：            地域施設(3千㎡)：13.8億円            &lt;算定想定&gt;            JBCIでの平均単価(46.1万円/㎡)            ×延床面積            地域施設3千㎡(アリーナ、トレーニング室、会議室等)            注)土地取得、地盤改良費は、含まない。         </td> <td>           建物：            広域交流施設(5千㎡)：29.2億円            &lt;算定想定&gt;            JBCIでの高レベル整備平均単価            (58.3万円/㎡)×延床面積            広域交流5千㎡(アリーナ、トレーニング室、会議室等)            注)土地取得、地盤改良費は、含まない。         </td> </tr> </table>	建物： 地域施設(3千㎡)：13.8億円 <算定想定> JBCIでの平均単価(46.1万円/㎡) ×延床面積 地域施設3千㎡(アリーナ、トレーニング室、会議室等) 注)土地取得、地盤改良費は、含まない。	建物： 広域交流施設(5千㎡)：29.2億円 <算定想定> JBCIでの高レベル整備平均単価 (58.3万円/㎡)×延床面積 広域交流5千㎡(アリーナ、トレーニング室、会議室等) 注)土地取得、地盤改良費は、含まない。
建物： 地域施設(3千㎡)：13.8億円 <算定想定> JBCIでの平均単価(46.1万円/㎡) ×延床面積 地域施設3千㎡(アリーナ、トレーニング室、会議室等) 注)土地取得、地盤改良費は、含まない。	建物： 広域交流施設(5千㎡)：29.2億円 <算定想定> JBCIでの高レベル整備平均単価 (58.3万円/㎡)×延床面積 広域交流5千㎡(アリーナ、トレーニング室、会議室等) 注)土地取得、地盤改良費は、含まない。		
ライフサイクルコスト(LCC)※2	<table border="1"> <tr> <td>           目標使用年数 80年間、大規模修繕 40年、部位・予防保全修繕等            LCC：58.6億円(0.73億円/年)            【整備費・設計費】15.2億円            【維持管理費】43.4億円         </td> <td>           LCC：115.1億円(1.44億円/年)            【整備費・設計費】32.1億円            【維持管理費】83.0億円         </td> </tr> </table>	目標使用年数 80年間、大規模修繕 40年、部位・予防保全修繕等 LCC：58.6億円(0.73億円/年) 【整備費・設計費】15.2億円 【維持管理費】43.4億円	LCC：115.1億円(1.44億円/年) 【整備費・設計費】32.1億円 【維持管理費】83.0億円
目標使用年数 80年間、大規模修繕 40年、部位・予防保全修繕等 LCC：58.6億円(0.73億円/年) 【整備費・設計費】15.2億円 【維持管理費】43.4億円	LCC：115.1億円(1.44億円/年) 【整備費・設計費】32.1億円 【維持管理費】83.0億円		
メリット	<table border="1"> <tr> <td>○イニシャル・ランニングコストが低く抑えられる。</td> <td>○大規模大会やeスポーツなどの新たなスポーツ大会等も開催できる。</td> </tr> </table>	○イニシャル・ランニングコストが低く抑えられる。	○大規模大会やeスポーツなどの新たなスポーツ大会等も開催できる。
○イニシャル・ランニングコストが低く抑えられる。	○大規模大会やeスポーツなどの新たなスポーツ大会等も開催できる。		
デメリット	<table border="1"> <tr> <td>●大規模大会の開催は難しい。</td> <td>●イニシャル・ランニングコストが高くなる。</td> </tr> </table>	●大規模大会の開催は難しい。	●イニシャル・ランニングコストが高くなる。
●大規模大会の開催は難しい。	●イニシャル・ランニングコストが高くなる。		
その他(交付金・助成金等の活用)	<p>&lt;新規整備候補地の土地取得、公園整備&gt;          社会資本整備総合交付金の公園事業を活用          (交付金：施設整備1/2、用地取得1/3)          (公園事業における建築物の割合は、敷地全体の12%以内)</p> <p>&lt;建物&gt;          学校施設環境改善交付金や民間との連携、寄附金による整備検討          (学校施設環境改善交付金は、スポーツ施設整備事業の地域スポーツセンター新改築事業を活用)          (交付金：対象施設の1/3(交付金対象面積2千㎡~4千㎡))</p>		

※1：JBCIは、(一財)建設物価調査会総合研究所のシミュレーションによる平均単価(設計費を含まない)

※2：設計費は、整備費の10%を想定し記載している。



●野球場






野球場			
整備の経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果から野球場のニーズが高い。</li> <li>団体からスタンド付き公式野球場の整備が望まれている。</li> <li>市内に硬式野球ができる球場がなく、施設の老朽化、機能不足により統廃合を前提に整備を行う。</li> </ul>		
整備に向けた考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>公式の野球場が整備できる既存施設がないため、新規候補地を選定し、整備を検討する。</li> <li>建設は、企業等からの寄附や社会人野球の企業チームとの連携も含め検討する。</li> </ul>		
整備候補地	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width:50%;">坂田球場（用途変更整備）</th> <th style="width:50%;">新規整備（候補地未定）</th> </tr> </table>	坂田球場（用途変更整備）	新規整備（候補地未定）
坂田球場（用途変更整備）	新規整備（候補地未定）		
整備費	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%;">           整備費：4.0億円            &lt;算定想定&gt;            専門業者からの見積費用  <ul style="list-style-type: none"> <li>グラウンドの整備</li> <li>防球ネット（H：最大40m）</li> <li>メッシュフェンス</li> <li>ダグアウトなどの再整備</li> </ul> </td> <td style="width:50%;">           建物：17.4億円            照明：10.5億円            &lt;算定想定&gt;            建物・照明塔：近年建設事業費            高校野球公式大会開催可能（両翼100m、中堅122m、7,200人収容）、照明塔6基            注）土地取得、地盤改良費は、含まない。         </td> </tr> </table>	整備費：4.0億円 <算定想定> 専門業者からの見積費用 <ul style="list-style-type: none"> <li>グラウンドの整備</li> <li>防球ネット（H：最大40m）</li> <li>メッシュフェンス</li> <li>ダグアウトなどの再整備</li> </ul>	建物：17.4億円 照明：10.5億円 <算定想定> 建物・照明塔：近年建設事業費 高校野球公式大会開催可能（両翼100m、中堅122m、7,200人収容）、照明塔6基 注）土地取得、地盤改良費は、含まない。
整備費：4.0億円 <算定想定> 専門業者からの見積費用 <ul style="list-style-type: none"> <li>グラウンドの整備</li> <li>防球ネット（H：最大40m）</li> <li>メッシュフェンス</li> <li>ダグアウトなどの再整備</li> </ul>	建物：17.4億円 照明：10.5億円 <算定想定> 建物・照明塔：近年建設事業費 高校野球公式大会開催可能（両翼100m、中堅122m、7,200人収容）、照明塔6基 注）土地取得、地盤改良費は、含まない。		
ライフサイクルコスト（LCC）	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%;">           目標使用年数80年間、大規模修繕40年、部位修繕等は、新設する防球ネット等を対象            LCC：6.5億円（0.08億円／年）            【整備費・設計費】 4.4億円            【維持管理費】 2.1億円         </td> <td style="width:50%;">           目標使用年数80年間、大規模修繕40年、部位・予防保全修繕等            LCC：72.2億円（0.90億円／年）            【整備費・設計費】 30.7億円            【維持管理費】 41.5億円         </td> </tr> </table>	目標使用年数80年間、大規模修繕40年、部位修繕等は、新設する防球ネット等を対象 LCC：6.5億円（0.08億円／年） 【整備費・設計費】 4.4億円 【維持管理費】 2.1億円	目標使用年数80年間、大規模修繕40年、部位・予防保全修繕等 LCC：72.2億円（0.90億円／年） 【整備費・設計費】 30.7億円 【維持管理費】 41.5億円
目標使用年数80年間、大規模修繕40年、部位修繕等は、新設する防球ネット等を対象 LCC：6.5億円（0.08億円／年） 【整備費・設計費】 4.4億円 【維持管理費】 2.1億円	目標使用年数80年間、大規模修繕40年、部位・予防保全修繕等 LCC：72.2億円（0.90億円／年） 【整備費・設計費】 30.7億円 【維持管理費】 41.5億円		
メリット	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%;">○土地取得の必要がない。</td> <td style="width:50%;">○硬式野球（高校野球等）での利用に制約のない施設整備が可能となる。</td> </tr> </table>	○土地取得の必要がない。	○硬式野球（高校野球等）での利用に制約のない施設整備が可能となる。
○土地取得の必要がない。	○硬式野球（高校野球等）での利用に制約のない施設整備が可能となる。		
デメリット	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ソフトボールの大規模大会で使用しているため団体との調整が必要となる。</li> <li>●敷地の制約から、硬式野球（高校野球等）の利用に制約があり、硬式対応の防球ネット等を再整備する必要がある。</li> <li>●公共交通に難ありで、大会等の開催時には、バス等の運行を行う必要がある。</li> <li>●駐車場が不足しており、大会等の開催時には、臨時駐車場を確保する必要がある。</li> <li>●港湾関連規制のため、照明の明るさを抑える必要があり、夜間の利用に問題がある。</li> </ul> </td> <td style="width:50%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>●土地取得の必要がある。（整備にかかる費用が過大となる）</li> <li>●土地からの取得となるため、建設までに期間を要する。</li> <li>●照明を設置した場合、周辺が農地の場合には農作物への悪影響が懸念される。</li> </ul> </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ソフトボールの大規模大会で使用しているため団体との調整が必要となる。</li> <li>●敷地の制約から、硬式野球（高校野球等）の利用に制約があり、硬式対応の防球ネット等を再整備する必要がある。</li> <li>●公共交通に難ありで、大会等の開催時には、バス等の運行を行う必要がある。</li> <li>●駐車場が不足しており、大会等の開催時には、臨時駐車場を確保する必要がある。</li> <li>●港湾関連規制のため、照明の明るさを抑える必要があり、夜間の利用に問題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土地取得の必要がある。（整備にかかる費用が過大となる）</li> <li>●土地からの取得となるため、建設までに期間を要する。</li> <li>●照明を設置した場合、周辺が農地の場合には農作物への悪影響が懸念される。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●ソフトボールの大規模大会で使用しているため団体との調整が必要となる。</li> <li>●敷地の制約から、硬式野球（高校野球等）の利用に制約があり、硬式対応の防球ネット等を再整備する必要がある。</li> <li>●公共交通に難ありで、大会等の開催時には、バス等の運行を行う必要がある。</li> <li>●駐車場が不足しており、大会等の開催時には、臨時駐車場を確保する必要がある。</li> <li>●港湾関連規制のため、照明の明るさを抑える必要があり、夜間の利用に問題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土地取得の必要がある。（整備にかかる費用が過大となる）</li> <li>●土地からの取得となるため、建設までに期間を要する。</li> <li>●照明を設置した場合、周辺が農地の場合には農作物への悪影響が懸念される。</li> </ul>		
その他（交付金・助成金等の活用）	野球場は、スポーツ振興くじ助成金や民間との連携、寄附金による整備を検討 スポーツ振興くじ助成金はグラウンド芝生化事業助成金		

## 2) 整備手順・スケジュール

整備候補施設について整備手順及びスケジュールをもとに、財政状況やライフサイクルコスト等を踏まえて、検討を進めます。

表 6 整備手順・スケジュール

青色線：整備中、黄色線：計画検討施設

整備候補施設	前期	中期	後期
	2023年度～2028年度	2029年度～2034年度	2035年度～2040年度
	令和5年度～令和10年度	令和11年度～令和16年度	令和17年度～令和22年度
テニスコート 	建設 工事		
屋内温水プール 	整備手法等の検討	設計・ 建設工事	
陸上競技場 (サッカー場を含む) 	利用団体と調整を図りながら検討を進める	設計・ 建設工事	
体育館 (アリーナ) 	企業との連携を含めた可能性を検討し、整備規模を判断し進める	設計・ 建設工事	
野球場 (公式球場) 		企業との連携を含めた可能性を検討し、施設規模を判断し進める	設計・ 建設工事

注) 施設整備の順番及び時期は、整備規模や整備手法等の検討結果により前後します。

### 3) 整備手法

これまでスポーツ施設は、一部施設を除き西尾市が公共施設の整備及び維持管理・運営を行う「公設公営方式」で行ってきましたが、広域交流拠点となるスポーツ施設整備にあたっては、スポーツ集客イベントはもちろん、収益性の向上に向け、イベント・興行での多目的利用が望まれており、より集客力のある施設づくりに向けて民間のノウハウを活かした施設づくりが必要となることから、民間ノウハウを活用できる整備手法の検討を行っていきます。

表 7 整備手法

項目	公設公営方式	DB方式 (DB+O)	PFI方式	企業との連携
概要	市の資金調達により、市が直接施設整備・改修を行い、施設の維持管理・運営については、直営で行う。	市の資金調達により、施設の設計・整備を一括発注する施設の維持管理・運営は、直営または別途指定管理者を選定する。	民間事業者の資金調達により、施設の設計・整備・維持管理・運営まで一括して民間事業者に委ねて行う。	民間企業との連携により、施設の建設、維持管理・運営等を検討する。
発注方式	仕様発注	性能発注	性能発注	民間企業との協議により発注方式・形態、施設の設計・建設、維持管理・運営の主体を決める。
発注形態	個別発注 (設計・施工)	一括発注 (設計・施工)	一括発注 (設計・施工・運営)	
設計・建設	公共	民間事業者	民間事業者	
維持管理・運営	直営	直営または民間事業者	民間事業者	
特徴	メリット	施設の設計・建設においては、民間による整備工法の工夫などによりコスト縮減、工期の短縮が期待できる。	民間資金を活用することにより、事業開始当初の市の財政負担の縮減が図られ、施設の設計・建設においても民間による整備工法の工夫などによるコスト縮減や工期短縮が期待でき、維持管理・運営も長期包括委託により民間のノウハウを活用することができる。	企業が施設を建設、維持管理・運営し、空いている時間帯等を一般開放する場合は、市民のスポーツをする機会が増え、また、企業のスポーツ選手との交流も期待される。施設の建設・維持管理等の削減が出来る。
	デメリット	建設に関して交付金や地方債を活用した場合でも、事業開始当初に施整備費等として支払う初期投資費が多く財政負担の平準化図りにくい。	建設に関して交付金や地方債を活用した場合でも、事業開始当初に施整備費等として支払う初期投資費が多く財政負担の平準化図りにくい。	特別目的会社（SPC）の設立やプロジェクトファイナンスなど一定のノウハウを必要とし、民間事業者は、このノウハウを有する企業と共同事業体を組織する必要がある。

### (3)スポーツ施設の維持管理計画

#### ① 持続可能な施設利用への改善

本市のスポーツ施設は、近隣市に比べ、屋内施設は使用料金が安く、屋外施設は、ナイター照明の料金を除き無料となっており、市民アンケートでは、施設利用者がある程度負担すべきという回答が、約4割となっています。

また、西尾市行財政改革推進計画（第6次実行計画）においても、施設の使用料金に関する指摘があり、令和4年度に開催した公共施設等の使用料適正化検討会での意見を踏まえ、使用料金の見直しを行います。

併せて、効率的な運営により、維持管理費用の低減化を図るものとともに、利用率及び使用料が低く市民ニーズに対応していない施設については、管理方法等の見直しを行います。

#### ② 管理運営方法の改善

現在、ふれあい広場（ホワイトウェイブ21）のみが指定管理により管理され、その他施設は直営での管理となっています。

新規整備する広域交流拠点となるスポーツ施設については、大規模かつ収益性の高いイベント誘致など民間ノウハウを活かした管理が望まれることから、指定管理に加えPFI等の民間活力手法についても導入検討を行います。

また、既存施設においてもスポーツに親しめる施設づくりや効率的な管理の実施に向けて、民間活力手法について検討を行います。

表 8 管理方法

	直営	指定管理	PFI
根拠法	—	地方自治法	PFI法
管理主体	公共	民間事業者	民間事業者
官民リスク分担	全面的に公共が責任を負う。	対象施設の運営・管理に関して、民間とリスク分担を決める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BOTの場合 施設所有リスク含め、大半の責任を民間が負う。</li> <li>・BTOの場合 対象施設の運営・管理に関して、民間とリスク分担を決める。</li> </ul>
メリット	安定的なサービスを提供しやすい。	民間の自由度は、（条例等の範囲内で）比較的高く、民間のノウハウが活かしやすい。	民間の自由度が高く、民間のノウハウが活かしやすい。
デメリット	民間ノウハウが活かしにくい。	短期間の契約の場合はサービス内容が限定的になりやすい。	長期契約となるため、モニタリング等のチェックが必要である。

#### ③ 施設利用者の利便性向上と事務の効率化

現在、公共施設予約システムを活用し、体育施設と学校開放施設の予約をしているが、今後は抽選機能や施設使用料のオンライン決済機能などの導入を検討し、利用者の利便性向上や事務の効率化、スポーツ施設の使用率の向上等を図ります。



## 西尾市スポーツまちづくりビジョン 2040

発行年月：令和5（2023）年3月

発行者：西尾市（交流共創部 スポーツ振興課）

〒445-8501 愛知県西尾市寄住町下田2番地

Tel：0563-56-2111（代表） Fax：0563-57-1321

E-mail：sports@city.nishio.lg.jp